

寶塚ゴルフリンクス行

朝日さしてカーテンあかし床の上に心落ちぬずまだ五時といふに  
 學校へいそぐ吾子よりもよく起きて一足早く山を下る我は  
 大空にはるけく霞見えぬまで球音鳴りてわが夢さめぬ  
 渾身に力をこめて打ちし球二三間ころげ止まりけるかも  
 たまたまに打ちたる球の高くとべば空仰ぎたり雲雀鳴くきこゆ  
 あかときの風すがすがし霧ふかき芝生ふみしむる我足のかろさ  
 赤松の森の秀づ枝にかすみをり生駒高嶺も葛城の山も  
 球打つと芝生を見れば一むらのすみれの花がまちかく咲けり

空の港

船が時化に遇ふ船に故障がおこる、もよりの港による、名づけて避難といふ。同じやうに飛行機がもよりの地におりる、名づけて不時着陸といふ。

歐米の天地は平野多くしかも牧場が少くないからいづこにも着陸できる。さゞえのような日本では猫の額のようなところが、水田になつて段々畑になつて着陸がむづかしい。たまたま不時着陸する機翼を折ることもあろう、車軸を損することもあろう、着陸のはづみに飛行士が頭を打つこともあろう、そうした時には世間ではそれ飛行機墜落飛行士負傷とはやし立てる。東京の飛行着陸場は八王子在の立川にある。大阪の木津は市中といつてもとても遠い上に渡し場がある。東京大阪の間を飛行する時間よりも、飛行場に往復する時間が餘計にかゝるのだからやりきれぬ。



ところがこの度朝日新聞社の東京新潟間定期郵便飛行の開設が機縁となり、新潟に市営の飛行場が出来た。阿賀野川の左岸で少々遠いが、それにしても自動車で三十分足らずである。現在には東京新潟間、近くは新潟佐渡間、将来は新潟と對岸ウラデオ間の發着地として、海外ではめづらしくもないが、日本では最初の市営飛行場が出来上る事になつてゐる。その昔は五港の一として歌はれた新潟は、こゝに最初の空の港としてまさしく返りさきしたのである。

昔は汽車の停車場をなるべく遠のける様に運動したものだ。といふて今頃飛行機の着陸上を近づけぬ様運動する馬鹿もないが、さりとて飛行場の設置が將來の國內飛行の發達に伴ひ土地の利便と繁榮を増すのだからといふて、進んで飛行場を作ろうといふ眼明きは一寸見當らない。六月三十日海防義會の松永理事と新潟に入り、東京から飛んで来た熊野飛行士を迎へ新潟市にかへりて晝夜二回の航空講演をすませる。あくる一日には近い内たゞの十五分間で新潟佐渡間を飛ぶようになると佐渡情調が味へなくなるから、今のうちにと蒸汽船なるものに乗つて佐渡にわたる。(五年夏東京朝日)

佐渡行

海原に遠くかすめる二子山鳥かと思へば彌彦と角田(新潟より兩津へ)  
浪の穂をすれすれに飛ぶとび魚の銀の翼のはりのゆゝしも  
舳先きりて右にとびたる飛魚の左にそれてまだ落ちぬかも  
米材を積みたる船のたゞ一つ沖かゝりせしがいつか居ずけり  
このところ黒木の御所のおんあとの百歩に足らず松風の音(黒木御所)  
このあたり日蓮上人のあとしのぶ石あり木あり寺とところどころ(阿佛坊)  
郭公のなく聲やみてしづかなり苔の下道にぬかづきてあれば(眞野陵)  
四十九里浪の上なる佐渡が島小木の港に聞く夜の雨(小木)  
汽笛の聲みなと一ばいにこだまして百噸の船は錨あげたり



# 新潟の二日

## 上 臨 港 會 社

日本最初の市營飛行場は新潟市を東へ阿賀川の川口左岸の砂地に選定せられてあるといふ。沼垂から自動車は東へ東へとはしる。大分に遠い、途中には砂濱地帯が眼もはるについで、ところへんに臨港會社といふ標示杭が見える。

一體飛行場に限らず広い土地を買ふ借るといふ時に、一番面倒なものは澤山の個人地所に分れてるといふ事である。値段が折合はない、やれ祖先傳來の土地だとか、のれんをだしてゐたとか、ごてつくばかりでテコでも動かない、つまりソロバンばかりで解決できぬからである。ところが見れば一面の砂濱である。そこへソロバンで早分りする會社が一手に所有してると

いふ、どうしてこの手近い場所へ飛行場が出来なかつたかこれが何より不審である。

阿賀川の左岸まで行きつくと、自動車で三十分はゆつくりかゝる、川をへだて、松ヶ崎といふ町と相面した砂濱が飛行場になつてゐる。いづれは飛行場ができる、自然格納庫もできる宿舎もできる、飛行士關係者から乗客さては税關の役人など群衆もつどつてくる。この土地では村有地として無代で提供したといふから、この村の人達はさきが見えてゐる、殊にはからずもうけものするは對岸松ヶ崎である。

この土地の選定は乗客や積載物の便利を犠牲にしてまでも、松ヶ崎繁榮のためにしたといふのではない。ただ手近い一番話の分り易かるべき臨港會社と市の間に話が分らなかつたためだといふ。

臨港會社は世の中の景氣も好く、いや悪くてもよろしい、廣大な砂濱に買入れ借り入れの御客が殺倒してきてゐる。飛行場はまとまつた金も入るが馬鹿に広いから、あまり安價では御免を蒙るといふのならよう分つてゐる。場所の広い上にその買手も借り手もない、坪が三圓といつて見



ても賣れなければ資産として評價されてるだけである。十圓でも百圓でも机上の評價は自由である。しかし一圓が五十錢でも事實賣れたら現金になる、利子を生む、その付近の土地もよい値で事實片づいてゆくだろう。新潟市の繁榮とか公衆の利便とかいふ事は眼中には置かなくとも、臨港會社はソロバンをはじくとすぐ分りそうに思ふ。利子といふ事と附近の繁榮といふこととに氣がつけば汽車の停車場の位置に血眼になる世の中である、進んで飛行場を引張りよせらるべきである。まさか飛行場にするに附近へ墜落の危険あり、爲に地價が下るなどといふのもあるまい。或はバスの營業權ををさめて新潟松ヶ崎間とすれば、近く新潟佐渡間の旅客飛行もはじまる、同じ賃銀なら高くしてその自動車収入でもうけようなどといふ、とても深遠なばかりごとをゐあくの内にくぐしてゐるのかも知れぬ。それにしても遠くで百人乗せるより、半分近くで三百人五百人乗せる方が主客共に利便ともおもふが……。

おれたちにはソロバン専門の人たちのやる事はよう分らない。

下 五 郎 作

醫師の不養生といふことわざがある。しかしその不養生のよつてくる所以に二種の別あり、一は己のための不養生と、一は人のための不養生である、などと一寸分類を試みて見る。

普通醫師の不養生といふのは、患者には酒煙草を禁ずべし夜ふかしをするな、食事を節せよ房事を慎めよなどといふて、御當人が暴飲暴食する夜更かしをする、發展もするへゞれけになる、これを醫師の不養生となんいつてる。つまり自分のため……ためといつても實に不爲であるが、とにかく自分勝手の不養生である。

ところが他人の爲の不養生といふ事がある。といふのはよく流行るお医者さんは、あちらからも御用とおつしやる、こちらからも御用とおつしやる。夜打ち朝がけ、そりや急病だ、もう息をひきとりそうだ、痛んでくこらへきれぬ、先生至急御診察をと火のつくやうに催促される、泣きつかれる、おまけに病院では先生の診察日といふ、千客萬來で五十人から百人、中には百五



六十人の患者を手にかける事になる。一口に百人といふが脈をとる聴診する押す撫でる並大抵の事ではない。こうして夜晝となく自分の身體を極度以上に酷使する、これを稱して人の爲の不養生といふ。

それが何十年とつゞいて段々評判が高くなる廣くなる、おちくと静養する間もない。一年三百六十五日そうした劇務をくりかへしてらうちに、慢性のトラホームが段々と根を張り巢を食ふて、とうとう視力減退を通り越し眼が痛んでこらへられなくなる。さすがに痛んで来てはやり切れない、病室に引き上げて専ら療養につとめる。少々よくなつたと思ふうちに失火がある、官立の醫大とあつてあと始末や復舊計畫を建るため病を押して東上する、病氣は又ぶりかへす、又病院の一室に閉ぢこもつてゐる。

この他人のための不養生により遂に入念な眼病にかゝつてるお醫者さんに、新潟醫科大學長内科長醫學博士澤田敬義君がある。

澤田博士については僕よりも新潟の諸君があまりに多く知つてるはずである。たゞ僕は澤田

敬義君などと他人行儀な詞をつかふよりも、オイ五郎作で通つてる、五郎作とは敬義君の舊名である。僕は明治三十年前後東京本郷森川町清嘯窟といふところで、一つ鍋の飯しかも自炊生活と共にしたのである。

この間新聞で醫大の火事の記事を見て見舞状を出したら返事がきた。しかしおれは今眼病で弱つてゐるとは言つてこない。こんど新潟に來た、又久し振りに鍋茶屋の一室でいゝ喉をきかしてやろうと楽しみにしたが、どうして鍋茶屋どころか面會謝絶で病院に籠つてるといふ。

高等學校の講演のあひまを見て中村市長、丹路局長同行で病院へ押しかける。そこに五郎作はさなきだに細い眼を一層細くしてゐる。見れば二三年會はぬうち頭がとも白くなつた、いや人事ばかりぢやないおれもかなりごま鹽になつてる。三十年來の親しい親しい友だが、今白髪頭をふり／＼取りとめもない漫談をかはして別れたが、もう今度こそは無理をしてぶりかへしを重ねぬよう、どこまでも根氣よく療治をつゞけるようくれぐれも頼んでおいたが、何分咽喉元を過ぐれば暑さを忘れるといふことわざもある。五郎作は少しでもよくなると又人のため



に不養生をするように生れついでる。どうか皆さん學校のために、醫學のために、又數知れぬ患者のために長い間眞面目に勵精した澤田醫博、今度こそほんとうに全治するまでは、諸君の方からうんと養生を押しつけてやつて下さい。(五年夏東京朝日新瀉版)

こんな代議士を選びたい。知人の中から

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 吉野 作造 | 鈴木 文治 | 丸山 鶴吉 | 長岡隆一郎 | 田邊 隆二 |
| 賀川 豊彦 | 森本 厚吉 | 榎 哲   | 末弘嚴太郎 | 岡 實   |
| 鶴見 祐輔 | 角 源泉  | 松方幸次郎 | 米山 梅吉 | 平生(三郎 |
| 安部 磯雄 | 杉山元治郎 | 田澤 義鋪 | 川村保太郎 | 檜崎猪太郎 |
| 矢野 恒太 | の諸氏   |       |       |       |

(今から見るともう大分當選した人も居る)

# 佐 渡 行

## 上 新瀉の返りざき

新瀉から東京へは夜九時半の汽車をはづすとあくる夜まで待たねばならぬ、同じ時間をつぶすならと佐渡へ渡る。兩津から小木へぬけて夜直江津行の船にのる、あくる朝一番か二番の上りにのれば、ガタコトの汽車だが夕景には東京へ入れる。そこで

来いといふたとて行かりよか佐渡へ佐渡は四十九里浪の上

といふ、その佐渡から来いとも何んともいつて来ないけれど、汽船にて海路三十二海里を海上四時間で邪魔にゆく事にする。

新瀉の港から二百トン級?大國丸といふ蒸汽船に乗る、驚くなかれ岸壁にかゝつてゐる。その



昔といふて、日清戦役直後である、僕の亡父房次郎が日本海航路の擴張對岸ウラジオへの航路開始を唱導し、遂に大家七平氏の二千トン汽船の定期航路が開かれる事になった。大學の學生時分である、函館から愛國丸に便乗して始めて日本の五港の一たる新潟へ着いた、いや沖がかりになった。甲板から見ると町らしいものは見えない、唯一面の砂濱である。はしけに乗りうつる、いろいろ閑々と濱近くまで漕ぎよせると、一人々々船夫の背に負はれて砂濱へあがられる。この砂濱の長々と遠い事、よろよろのおもひで新潟とやらに入る、忘れもせぬ櫛清といふ宿屋にとまつたことが記憶に残つてゐる。

その新潟も信濃川の川口に上流から流されてたまる土砂を根氣よく引揚げてゐたが追つつかない。そのうち大仕かけで寺泊へ放水路ができる、今では二三千トン級の船は河口に入るといふ。も一つ昔に返りさきをして東京新潟間の郵便航路を機縁とし、更に新潟から佐渡の兩津へ、更に新潟浦港間の航空路も夢見て、ここに市營の港まで出来る事になった。その佐渡が島へそのうちにはただの十五分間にて本土へ飛行突破の定期航空路が開けようと

いふ。朝日社の飛行機も近く兩津における第二師團の上陸演習を機とし、佐渡の上空を飛ばし、たらどうちやるかといふので下検分と號し、佐渡は夷港の名で通つてゐる兩津港に入る。海上船先を飛魚の驚きて飛び交ふ事しげし、奥伊豆の曾遊が思ひ出される。

### 下 佐渡の一日

佐渡が島、順徳帝は申すもかしこし、日蓮、文覺をはじめ日野資朝阿新丸、さては觀世元清などにより、遠流の地として知られた佐渡が島、山吹色の相川の金山で名を賣つてゐる佐渡が島、史跡や案内記を種に筆にしたなら際限がない、今更そつした染め直しを場所もあるうに新潟版には禁物である。

兩津から加茂の湖を左に河原田に向ふ、途上丸木の御所跡を拜し眞野灣にでる、この感じは淡路の洲本から福良にゆくに左も似てる。ことに淡路には淡路廢帝と傳へらるゝ淳仁帝の御陵あり、佐渡には順徳天皇の御陵あり何ぞ相似たるの甚しきやといふ感じがある。



相川の金山を一寸垣のぞきして、相川おけさも見ず、引きかへして檀風城跡より阿佛坊園分寺眞野陵を経て山越えに小木に入る。このあたり七曲りといひ、大洲より宇和島に通ずる法華津越のながめがしのばれる。

その昔遠き將來の佐渡繁榮策を達観して日蓮上人をこの島に遠流したわけでもないが、事實佐渡は至るところ上人の遺跡あり、年々參拜の道者は團體をなしてこの島に渡るといふ。いかさま紅葉山人の風流ゐん事で名ある小木の權座旅館に入つたが、すべて米材だが堂々たる建物はいうに二百人近い御容を容るゝに足るといふ、世は末になつても法燈長へに消えず尙光りあり。小木の矢島經島に山本二峰君の別荘がある。吾等一行佐渡のおけさを見物してその夜は風あり、直江津行は休航といふに一泊、あくる朝赤泊に經て寺泊に着く。夏の寺泊は彌彦を右に佐渡を前に白砂青松風光に富んでる。順徳帝行宮御遺跡をはじめ日蓮上人の硯水、さては義經の奥州へ落ち行きし折、辨慶の忙中閑日月あり手堀の井戸といふがある。泉久の階上に涼を納れて夕景越後鐵より乗りかへ乗りかへ東京へ。(五年夏東京朝日新湯版)

# 房 總 行

## 一 那 古 觀 音

安房一圓いや千葉全縣を通じて節約奉仕的の實踐躬行團體として、生かさう會といふのが北條高女の鴉矢校長の提唱により、會員既に二萬人を越えとてもすばらしく活動してるといふ。その生かさう會に臨むべくこの二十五日に兩國から鐵路北條に向ふ。その昔學生時代に靈岸島から小蒸汽で木更津へ、鹿野山を經て北條まで遠足を試みてから、春風秋雨こゝに四十年、鋸山は相變らずギザくして、富山は矢張りチョコナンとしてゐる、しかし那古の觀音はまさに面目をあらためてる。淡い記憶には松杉の下にこんもりしてゐたように思うてゐたが、今はあからさまに露出されてる、まづ前髪をそり落して元服した形だ。



どうも神社佛閣は前髪があるほうがよろしい。

聞くところによれば大正十二年の大震災でかくの如くの始末である、館山灣頭の鷹の島も、あれから地つゞきになつたといふ。昔から日本海沿岸は次第に海中にめり込んで、勸進帳で名を賣つてる安宅の關も今は海の底にあるそう。ところが太平洋沿岸は次第に盛り上つてゆく、そこへこのたびの大地震で又一時に大分干上つたらしい。まあ地面のふえるのは結構だねといふと、いやそれも所によりけりで白濱沿岸の乙濱などは、四十萬圓ほどかけて出来上つたばかりの築港が、土地のもり上りで臺無しになつたといふ。いかさま港は廣きを以て貴しとせず水深きを以て貴しとす。

### 二 北條と館山

北條と館山は橋一つでつながつてゐる、それも兩國橋などちがつて小さい小溝にかかつてゐる小橋一つが境になつてゐる。

一つになつたらどうぢやろかと思ふが、同じ縣内に銚子だつて三つの町が軒をつらねてゐるが、いがみ合つてまとまらない。それを差置きお先へ合同などは全く失禮なりといふ理由でもないらしい。全國をまたにかけてある筆者には、到るところこうした場面に出くはす。

伊豫の大洲などは橋一つ境にして大洲町と大洲村がある。大洲村が馬鹿にふくれて戸數も大洲町を凌いで来たが、町になると全く同地で同名だから困るとばかりに、合併して市になればよいはづだが、いまだに村のまま我慢していきんでゐる。

一つになつたら警察に保安に衛生に消防に諸事萬般統一がとれる、學校はじめいろ／＼の建物にも無駄が省ける、現在集配郵便局は館山にたゞ一つである、だから電話だつて北條町の分も館山の何番といふ事になつてゐるやないか。

いや／＼そんな事は百も承知二百も合點である、實は北條の方は震災後四十萬圓ばかりの借金がある、釣り合はぬは不縁のもとだよといふ。いかさま持參金付といふのはあるが借金付の縁組はあまりない。しかし負擔は總て均一で無ければならぬ事はない、不均一の課税は市町村條



例にも認められてる。なあにまとまらないのは不釣合のためでは無くて、あまり釣合が好すぎるからである。北條と館山は五分と五分武藏山と朝潮といふ好取組である。合併してからが役場はどちらに置かなかなどといふ難關もある。まづ第一名前は何とする、北條館山どちらの名も賣れてるやないかといふだろう。館山の山と北條の條で山條、政友會幹部の山本君とてつばるといふなら、北條の北と館山の山で北山、それでは腹ペコらしく聞えて貧相だといふなら、北條の北と館山の館で北館、まあこの邊で手を打つたらどんなものである。などと忙しい旅の中で餘計な人のせん氣を頭痛に病む。

### 三 安房の鼻

北條で汽車からおりる、木村屋で晝食、すぐ生かさう會で長講一席すますと、又すぐに房州の南端を一周すべくオウトをはしらせる。館山をぬけて田舎路に入ると、四十七ヶ所の觀音さまに巡禮する彼岸詣での老若が、三々五

々絶え間なくつゞいてる。

行く秋を彼岸詣の女づれつゞく小川の曼珠沙華の花

神戸の安房神社にお参りする。

境内に人影は見えね落葉焚くけむり白々とのぼりをるかも

布良から黒潮よどむ大海原に沿ひ、野島ヶ崎の燈臺を仰ぎつゝ長尾より白濱乙濱の漁村をはしる。ダコタ丸沈没の昔話から、七浦をすぎては早川雪洲物語、いまだ半ばならずしてはや千倉の町にいる。この行程わづかに二時間に足らず、千倉より汽車にて夕まぐれ鴨川に下車。

鴨川はこのあたりの旅客の足だまりになつてゐるといふ。いかさま吉田屋と相模屋といふ、とてもでつかい三層樓が海に臨んでゐる。一つの身體を一晚に二ヶ所に分けて泊るわけにも参らず、吉田屋の三階に客となる。一階の大廣間には彼岸詣の團體らしい、御詠歌の鐘の音が波の音にまぎらへて耳につく。



四 小松原鏡忍寺

小松原の鏡忍寺は日蓮上人四大法難の一として知られてあるが、いにし鏡忍をしのぶような容ぼうかい偉な當寺の住職は、その法難の次第を音吐朗々と繪解する、とても手に入つたものである。境内には法難のとき鬼子母神が出現して法敵東條景信をへこましたと傳へられてゐる。槇の大きな古木がある。この槇の枝はみなぶら下つてる、枝垂櫻はありふれてるが枝垂槇は一寸珍しい。

人生は總て時と所に支配せられる。同じ法難でも鎌倉殿の御膝下龍の口の露と消えたなら、上人の威徳今日に勝るとも劣りはせまじきも、房州の片田舎で東條何某の手にかゝつたとあつては、上人の年輩も若きに過ぎ場所柄もぱつとしない。法難は布教に付物であるだけに、場所が偏して居りおまけに相手が小さくては割りがわるい。小松原では鏡忍をはじめ工藤吉隆その他幾多の犠牲者を出したのみか、東條の太刀先を念珠で受けとめた上人は、額に切先を受けたと傳

へられてる。この法難こそ誠に危ふくもあり、勿體なくもあつた、まさしく四大法難の隨一であらう。

僕の母は法華の信者である、御土産に御守など求め住職に別れをつけ、しどろに降る雨の中を清澄山さして。

五 清 澄 山

千光山清澄寺四百メートルに足らぬ山なれども、夏は涼しくて蚊帳を釣らない。高山植物あり熱帯植物あり、農科大學の演習林がある。満山櫻と紅葉にうづもれ老杉巨松天空を摩し、太平洋の海原を見はるかして、房總の連山は脚下に離伏して、晴好雨奇まことに關東の名山である。小湊生れの藥丸丸十六歳にして清澄寺に入り得度して是性房蓮長となる。建長五年四月二十八日三十二歳にして自ら名を日蓮とあらため、旭の森に立ち南無妙法蓮華經の題目を喝破し、法華の立教開宗した事は今更記すも管である。



清澄寺は天台宗慈覺大師の開創にかゝりしが荒廢して法燈の影暗く、徳川の初期に至り智積院の仲恩坊頼勢により中興して新義眞言の名さつとなり今日に至つては、今では清澄寺の本堂には日蓮上人の御厨子もまつられてあり、旭の森には上人の銅像が東天を望んで突つ立つてゐる。現在の義秀僧正に至り清澄寺ありてこの聖人を生み、聖人ありてこの寺は世に知らるゝこの山は一宗一派の靈場にあらず、人々その欲する所に從ひ尊信恭敬得解せしむべきものなりとし、寺門を開放せしめたのであるといふ。念佛無間禪天魔眞言亡國律國賊と叫んだ日蓮上人は、まさしく勘當が許された形である。上人の靈は善いかな是あるかなとうなづくか、それとも無間亡國などと膝を交へるなどとそつぽをむくか、そんな事はいらぬ詮議である。この山に登る道俗の士が出家得度し苦修練行し立教開宗せる法華の行者を心しづかにしのびうる事はまことに結構な事である。

この夏佐渡に遊びて到るところとても大きな旅館がある。それは法華有縁の團體が絶えず参詣するためだと聞いて、もとく鎌倉殿は絶海の孤島に遠き慮あり、上人を佐渡ヶ島へ流し

たわけでも無いが、さりとしてこの北海の小島にまで上人の金剛不壞の力のかくまで強く大なるものあるには今更ながら驚かされた。

今は清澄へ自動車で一氣に登れる。遠からず木更津手前の五井から鶴舞を経て小湊への鐵路が開通する。さらにケーブルカーが山頂に通じるといふから、仙境の山水に遊ばんとする者、上人の靈跡を追慕する者年と共に數をいや増す事であらう。

生にくと雨は降りしきる、その中を彼岸詣りのつながりが、うねりうねりして山路に跡を絶たぬ。天津の町からは有志の人々がわざわざ迎へてくれる、寺のもてなしもそこく山をくだる。この次の登山の折にはゆつくりと一夜をおくらねばならぬところである。

むら立てる杉の大樹を見あぐれど秀末はわかず雲かきくらす  
これやこの法華の行者が高宣りし旭の森に我も立ちたり

六 鯛 の 浦



清澄山麓小湊浦は日蓮上人出生地として、その名も光高山日蓮誕生寺といふ四海妙法の淵源本化最勝の道場がある。

摠門の外から妙の浦遊覽船が出る。上人誕生の時いづれよりか集ひ來りし鯛の群が數日海上に躍りこゝを去らず、その後禁漁になり鯛はふえるばかり、今では鯛の浦と呼ばれてゐる。四丁櫓の聲勇ましくといひたいが、かけ聲がヨイ／＼といふから聞きようにするとをかしい。まあそれが可笑しくても可笑しくなつてもよろしい、海上數町にして船人が船底をたたけば、鯛の群は波間にはつらつとして、投げやる餌を争ふありさまは由々しかりける次第である。

濱名湖畔の養魚池で鰻の餌を争ふのを見た、日本の鰻は濠洲の沖から周遊してくるといふが、それが仕切られた池の中で投げられるさなぎを争うて、三四坪ばかりの水面いや水上に幾千の鰻が盛り上るを見た。これは全く開け放しの外海である、遺傳性にでもなつてゐるのか、さりとてはよくおとなしく一つところにゐたものだ。

今日は降りしきる雨に遊覽船のお客がない。そこへ乗り込んだ物數寄な我等一行はまさしく

鯛の身にとりて珍容である。何よりもゑさに渴え切つてる五六尺もあろうといふ群をなせる金色の大鯛は、浪の上に頭をだしひれをあげ争ふさま誠や壯觀である。案内せる同行の士皆こうしたながめは始めてだといふ。

ぢやといふて何もわざ／＼雨の日を選んで見物するにも當らないが、雨天なればとてあきらめてゐた鯛の浦で、この壯觀に接する事誠にありがたひ次第である。

### 七 駿 河 屋

小松原清澄小湊を歴遊して夕景には成田に着いてる、便利な浮世である。

成田で駿河屋にとまる。店頭には魚河岸から洲崎吉原などの千社札がぎつしりとかけられてある。迎へてくれたおかみさんは年は大分にとつてるがすつきりとあく抜けてとても意氣である。女中衆はいづれも銀杏がへしのびんがきりりと張つて、左右へ顔の横はゞの一コンマの七八位もあろうか、椿の油で漆黒に光れるが、一糸みだれず翼を左右にひろげてる。椽側も便



所も風呂場もふき清めてピカ／＼と光つてる。樓上の廣間には淺草歳の市の、とても大きな押繪の羽子板が飾られてある。その昔はどこでもお目にかゝつたが、近來とんと無沙汰してる、珍しや巖谷一六居士の額面は二ヶ所にまでかゝつてゐる。

僕も十三歳の頃から東京に住居してゐるが、江戸情調といふものはいつの間となく薄れてゆき、殊に大震災のあとは、ビルディングと、バーとアスハルトと、自動車と百貨店とマーヂヤンクラブと、オールバックとアツパツパで、世は昭和モボモガの時代となつてしまつた。圖らざりき千葉縣は印旛の郡成田の宿で、こうした江戸情調下町情調淺草情調にしたしむ事かと、そゞろに懷舊の涙にむせぶ。

我孫子の里白馬城を出馬に及び、この屋に我等一行と落ち合ふた杉村楚人冠、どうやそんな氣がするやろ？ といふたら、ウンそうやといふ。

### 杉村楚人冠

### 八 成 田 公 園

駿河屋に一宿した連中はみな成田山にはおなじみであるが、僕は學生の頃常陸の鉾田をあとに鹿島香取を経て滑川に一泊、翌成田山に參詣してよりこゝに四十年、久かた振りとおつてあくる朝まだき獨りぶらりとお参りする。

新勝寺の構へはいづれ大分變つては居るだろうがよくはわからない、とても意外の感に打たれたのは寺のうしろの公園である。

日本の三名園としては水戸の偕樂園、高松の栗林公園、岡山の後樂園あり、それらにまけるものかと金澤の兼六公園あり、いづれも名園に相違は無いが、成田の公園は泉石の布置敢てそれらに劣るべくもない。丘陵の間けい谷あり水清からざるを惜しむも、松杉うつさうとして天空を摩し、更新館のあたりよりながむれば大分に洋式が加味されて、そゞろにベルリンのポツダム、白都のラアケンの離宮などを忍ばしむるものがある。



難をいへばこの公園の大を以てして泉石本位になりすぎてゐる事である。つしかしこれもこのまゝでよろしいとしてこの一角に奥の院を建つる事、又その地つゞきにガーデンゴルフ、野球のグラウンド、庭球のコートなどを設けんには、公園の利用率は百パーセントとなるべく、さらに東京の郊外まで引越せるものならば一萬パーセントにのぼるべし。

九三 里 塚

三里塚は宮内省の牧場として櫻の名所として知られてゐる。

まだあまり世間に知られてないが、そこにゴルフのプライベートリンクスがある。そろひもそろひで好きではあるが、下手の方ではひげをとらない楚人冠と海南は、このたびの房總行にはこのリンクス一遊を書き入れにしてゐた。

お上手にいふでは無いが聞いたより思つたよりよろしい。といふてこゝに書きたてゝ見ても、讀者諸君にはあまりに縁が無さすぎるから止める。たゞ千葉縣には六實に藤ヶ谷に我孫子に柏

に既に四ヶ所のゴルフリンクスができた。ニューヨークの町から二時間程の内にゴルフリンクスが二百個所を越えるといふから、東京に隣接せる千葉縣ではこゝ数年のうちともリンクスが増すものとおもふ。三里塚のリンクスも年と共に評判に上つてくるに相違ない。

このリンクスは成田の大塚篤三君の設くるところにかゝる。一面識も無いのに案内も無いのに當方から押しかけて、午前中四回廻つた。お晝になると廣々とした芝生にテントを張つてランチの設けあり、一同しやあゝと憶面もなく飲みかつ食ひ、さよならとばかりスタコラ引き上げる。押しかける人も押しかけられる人も好きな道なればこそである。櫻の頃にまた出かけようと存する。

十 宗 吾 靈 堂

御褒美の方がお先になつて午前の三里塚から午後は千葉市亥の鼻館の教化講演、楚人冠は『國語擁護につき』海南は『不景氣に直面して』長講三時間いさゝかくたびれる。



あくる第四日の朝は宗吾靈堂を経て吉植農場視察とある。東道の主人は吉植庄亮大人、連れだつ面々は後藤多喜藏朝臣、伊藤高女、米本旭窓、楚人冠と千葉の大内支局長の面々、小春日和のとても好い日曜日である。

成田に下車自動車にて公津村の宗吾靈場へ、こゝにて杉村伊藤兩君引きかへし、残る連中は土地の名家である鈴木亮君の案内をうけて、宗吾邸から甚兵衛渡しへ向ふ。靈堂の裏手に活人形の見せ物小屋でない大屋がある、人形を説明する小柄な爺さん無駄がなく、とても要をつくしてゐる、みなく少からず感心する。

木内宗吾は公津村の出なりいや他國者なり、わざ／＼女房に暇乞ひにかへりしとはうそなりいや眞實なり、四人の子供は皆男子なりいや女もありたれど打首にするると男にしたのなり、女房ははりつけなり、いや女故に命たすかりたり、宗吾の家は闕所となりたれば今傳ふる所はその向ふ側なり、いや今の所が當時の邸宅なり、今の後えいといふのは宗吾の血を引かずいや引いてるなどと、中々議論が區々である。宗吾の舊宅に行く道すがら鈴木君が色々話して

れるけれど、吉植大人が傍から

一本の木にて建てたる社務所かな

柿一つ梢にあかき日好しかな

などといふ名吟を機關銃で連發するから、どうも話が途切れがちになつて腰を折られる。

藪だゝみ小ぐらき道の下じりなづみて下る宗吾の家なり

十一 木内宗吾

ジニマ

昔支那で唐であつたか魏徴といふ宰相は臣をして良臣たらしめよ忠臣たらしむるなかれといつた。家亂れて孝子出で國亂れて忠臣現れるとあるからは、吉良上野介があこぎでなく、又淺野内匠頭が今少し辛抱すれば松の間の双傷もなく、赤穂四十七士の名もなかつたはずである。堀田正盛三代將軍に殉死、嗣子幼君なるに家老堀田左門暴政を布いたばかりに佐倉騷動がもち上つた。大石良雄も木内宗吾も自分達がとこしへに名聲をはせんよりも、淺野家の無事佐倉藩



の善政を祈つた事であろうが、國亂れてこゝに忠臣義士が現れた。それが計らずも長へに日本の風教のために誠に得がたい收穫となり、小さい事だが文士に義太夫に歌舞伎に講談に浪花節に、おかげで口をすくしてゆく連中も數知れぬ。誠に本人にとりてはお氣の毒であるが、見方によれば御大老でも總理大臣でも時ふれば丸で忘れられる世の中に、誠によくじを引かれたものともとれる。堀田左門が居なければ暗から暗に消えるまでである。佐倉に暴政あり、こゝに宗吾は敢然として三百八十九ヶ村のために身命をなげうつ事になる。しかも一家あげて極刑に處せられる、こゝに義士の權化として長へに隨喜渴仰のまとなる。もつとも名は残したいがさてがう問は辛いはいりつけになつては痛いといふかも知れぬが、温泉で美人を膝枕にしてマツサージをしてもらひながら、名聞をせたいなどは虫が好すぎる、そうは問屋ではおろさない。今日では罪三族にも及ばず、別につめ腹にも打首にも無らないのに、勝手な眞似してさて責任をのがれ、しやあくゝと恥なき者そこらあたりにうぢやくゝして、あんまりやと思ふ。

十二 印 旛 沼

甚兵衛渡し見晴しの茶屋にいづれば、眼界頓に開けて印旛沼は長蛇の如く東北へ延びてゐる。柿の實は赤く光つてる、葉末に風のそよぎもない、うららかな秋晴れにもづが鳴きやまぬ、時候外れの油蟬がをりゝゝヂ、と聲を立てゝる。

利根に下る白帆がとぎれゝゝに鏡の如き湖上をゆるゝ動いてる、西の方吉高村より東の方北須賀へ兩岸せばまるゝ甚兵衛渡し霞んでる、北須賀の湖心につき出た渡頭に水神の森があり、老松三五こんもりと水面に影を落してゐる。

水の面に水神の森の影ふかし我が舟はよぎる甚兵衛の渡し茶屋をあとに徒歩數町湖畔にいづれば田舟が眞こもの中に浮んでゐる。

これがまこと葦分舟といふのだらう、眞こもの中をかき分けて船はするゝと湖上に出る。ところゝ白鷺の飛ぶあり、にほの浮巢あり、西瓜にとまつてゐるいなご、舟を追ふといは、水



棹の音、にほのなく聲、歌人俳人の迷吟。

利根川に出づる北端まで湖心に浮ぶ事約二時間、面會もなく手紙もなく電報もなく名刺もなし、汽車電車自動車の騒音もなければもしくの電話も無い。

但し船中吉植鈴木二將が米價調節やら刻下の農政につき談論風發國事を憂ふる事頻りである。舟はいつしかに真こともと葦と蒲のむら生へる長門川に入る。僕は加州スタックトンに牛島馬鈴薯王に案内され、サンオウキンの流れにモーターをはしらせた當時を思ひうかべ、このしづけき湖上の一時に五體のばねがゆるんでふやけたようになる。

あまり風光にあこがれてゐると歌なんか出来るもので無い。まして吉植邸では、堀たての芋の煮ころがし、もぎ立てのゆでた枝豆、鯉なく、うなぎの蒲焼、鶏の甘焼、生み立ての卵に、腹が一杯にふくれては、歌なんかよめるものではない。せがまれるまゝに書畫帳への即吟は、湖にいづる真ことも道の高茂り鷺飛立てり一羽又一羽  
秋晴の湖しづかなり水棹の音をりくりに鳩の友をよぶ聲

印旛沼行

小春日の空晴れたれどはるくし沼尻のあたり霞みてありけり

甚兵衛茶屋茶屋のよしず柿の實の落つるやがてもころがりけり

油蟬秋ふかけれどこの里になほいのち生きてちゞと鳴きをり

水棹さし葦わけゆけば我船のうちへいなご飛び入り膝にとまれり

刀根にいづる沼尻川の葦の穂のうごかぬ秋の眞ひるまなりけり

沼内の眞こもの中の一つ家に土にしたしみ歌よむ友は(吉植庄亮君)

犬馬にほれられる人女房にほれ申候と杯あぐる人



## 東洋一のトンネル

## 上越鐵道

上州沼田在といへばいかさま鹽原多助の生家とか、馬の青と別れを惜んだ多助の松などあるに不思議は無いが、同じところに茂左衛門の遺跡も隣あつてゐる。

後閑驛から程遠からぬ赤谷川の利根に合流する河原に白い大きなくひが見える。佐倉宗五郎と肩をならべて然るべきだが近くまで世間から知られずゐた義民茂左衛門のはりつけになつた仕置場であり、うしろの岡の上には茂左衛門の千日堂の屋根が松の木の間に浮き上つてゐる。

また程遠からぬ所に高橋お傳の家が線路の真下に見える。更に数丁にして利根を隔てゝといつても川幅數十間にすぎない對岸の岩間に白木屋お駒のおこもり堂がある。作州津山在に八百屋お七の振袖があるのだから沼田在にお駒がおこもりしたとて珍しからず。

上州の吾妻郡には温泉郷として草津、四萬など二十有餘の湯治場がある。お隣の利根郡は數に於て尙勝れるものあり、しかもその昔は三國越、清水越により、越後と關東の街道筋なりしも、信越線開通してより全く世間から忘れられ、僅に片品川に沿ふて尾瀬沼より會津に、又大沼菅沼を経て奥日光にぬける少數の登山家を見る程度であつた。

それが前橋より北上して沼田を経越後境の水上まで上越南線の開通を見ると、夏時は浴客、冬時はスキー客と奥利根一帯の地は夜の明けたやうに、新生の光りによみがへつて來た。

奥利根から越後魚沼に抜ける上越線の貫通により、東京長岡間で約六十マイル、時間で五時間近い節約となる。その國境をぬけるトンネルが世界で七番目とかになるといふ。第一番にあたるアルプスのシンプロンの十二マイルに比しては約半分であるが、東洋ではまさしく第一である。延長六マイルといふから約十キロである。東京驛から大森又は新宿までの里程であるから短しとせぬ。現在の最長トンネル甲州の笹子は三マイル弱、問題になつて熱海の丹那が五マイル強であるから、この後とも日本ではこれ以上のトンネルは出來そうにない。



トンネルは清水峠の下腹部かと思へば、三國峠と清水峠と中間谷川岳の東にあたる標高六千尺の茂倉岳をつらぬくのだから、茂倉トンネルである。しかし茂倉の名はあんまり知られなすぎると、東洋一のトンネルとして上越トンネルといった方がよいようである。

國境方面のトンネルは箱根、笹子、碓氷などのやうに小さなトンネルが眼まぐるしくつゞくのではない。上越トンネルを中央にして、上州側に四ヶ所、越後側に二ヶ所いづれも半マイルの分一ヶ所を除けば皆一マイル以上で、しかも鹿兒島線の加久藤越の如くトンネルの中で圓形をえがくループ（螺旋形）トンネルが双方に一つづゝ何れも一哩を越えてゐるからとても壯觀である。

水上の次驛湯檜曾では、利根の本流を渡りて對岸山腹のトンネルに入りし我等のガソリン・カーは一マイル餘山腹中に圓を描きてトンネルを出ればまさしく百六十尺の直下に前の入口を見る。このあたり岩角の下を流るゝ利根のけい流をさしはさみて至るところに温泉湧出し、こゝそこに旅館別荘などの木組棟上など點々してゐる。約九年の星霜を経て、三百五十萬人の延

人員により一尺當り三百七十圓、總工費約一千二百萬圓を費した上越トンネルは、まさしく我國鐵道史に一つのエポックを作れるもので、殊に前衛後衛としてループトンネルにはさまれて居るなどは珍とすべきである。

吾等スキスに外遊して、サンゴタル線によりイタリーにぬけたのは、ペデカー案内書にあまりにもそのループ線の宣傳に念が入つてゐたからである。線路の工事そのものから、又沿道の風光から見ても、まづ東洋では前に臺灣に一路七千尺を上る阿里山鐵道あり、今内地にこの上越線を見る。

水上の温泉郷に旅塵を洗ひ、ガソリン・カーに乗つて上越トンネル口迄更に工事中のトンネル内は蓄電地カーなどにより、ところどころ停車徐行徒歩など一時間半にして越後路にぬける。さらに松川のループトンネルをぬけて湯澤に下車、長岡よりの迎へ頻なりしも、裸のカーに投じてこのトンネルをくゞらん事、又の機會もあるべからず再び折かへして逆戻りとなる。

トンネル内は百ポンドの本線レールの敷設中である。セメントかくはん機のゴークたる音



が至るところトンネル一杯に反響してゐる。海上より二千尺山頂より四千尺の地点である中程に、幅三十尺長さ二千尺にわたり復線になつてゐる信号所がある。カーを下りて小屋に入り、冷え切りし手を圍爐裡にかざす、厚着の上に事業服をはをつてゐるがいさゝか寒い。

このトンネルも九月から開業する。六マイル全く一直線である、それを電気機關車により十分間位で一過しようといふ、よろしく後部に展望車を聯結すべきである。上越線はまさしく線路そのものが觀光線である。

行を共にする者同人杉村楚人冠、案内の勞をとられしは竹股、星野、佐藤、沼崎の諸技師諸君、時は昭和六年六月十日（東京朝日）

## 現代放話

現代放話は時事の寸話である、社會世相の片影のつながりである、うつりゆく時代の手鏡である。

昭和二年三月より三年五月までは苦樂放言と題して雑誌苦樂に、

三年十月より四年七月までは現代放話と題して雑誌現代に、

連載せられしを併せて「鯖を讀む話」の中に集録され。

四年八月より五年七月までの現代放話は「飴ん棒」の中に集録され、こゝにあるはその以後の分にかゝる。

こうしたものは時の流れと共に味の抜けやすきものなれども、又以て時代の動きをうつして一味の風趣なきにあらずと、手前提灯を持ちながら。



# 五年八月號

## おとなしいサラリーメン

景氣がよくなる物價が上る、定額収入の面々の収入増加は、物價の騰貴よりも遅れがちで割の悪い立場にある。

景氣が悪くなる物價は下る、定額収入の面々は漸く幾分の餘力がでくる、割のよい立場となる。

物價が高くなつて給與伴はざるときも、あまり愚痴はこぼしませなんだとばかりに、物價安くなりて餘力ができても、少々樂になりましたとは云はぬ事になつてゐる。

## ギルド組織の工場

大阪北區同心町のガラス合資會社富永商會は工場を閉鎖し、全従業員百名が解雇となつたが、財産は解雇手當として一切の營業權と共に全従業員に譲渡され、こゝにギルド組織の大ガラス製造所が更生した。

## 丹羽博士の無線電送寫眞

國産品でも舶來といふレツテルを貼らないと賣れない。同じ品なら舶來というて高値にしな  
いと買つてくれない日本では、遠慮しいく丹羽博士の無線電送寫眞機を發明發表したところ、  
英國國際無線通信會社より大西洋航海の船中で發行する新聞紙に、寫眞ニュースを送るためと  
いふので、送信受信二組の註文が來て少なからず面喰つた。

## 教育界の血と火

教育界は時局多端とあつて學校と學生さんの間に契約の取交はし、やれ質問書それ要求、そ



れ覺書それ調印と誠にビジネスライクになつてくる。傍ら日本大學では神聖なるべき學園に血を流し、警察總がよりとなつてやつと引き分け、之を耳にした關西大學でも學生總動員、劍劇位ではをさまらずして放火劇、いやはや勇ましいのなんの。

### トラホーム病原

極めてありふれた病氣で厄介千萬なトラホームといふ眼病には、故野口英世博士獨のクロアツエク博士など、世界の學者が皆其病原の研究に没頭してゐたが、此度北大の越智貞見博士は二十四年目の研究の末、漸く病原體と覺しき一種の微生物を發見しその培養に成功した。完成の曉はまさしく世界の大發見である。

### 同時に六ヶ國の言葉

萬國動力會議第二回總會には、一つの演説が同時に六ヶ國の言葉で聞かれる。壇下の通譯

は外に洩れない送話器に口をあて、翻譯せる言葉を同時にそれぞれの電線を介し、それ々の増幅器を経て各代表の卓上におくられ、各代表は受話器を耳にして各々好む國の言葉が聞かれようといふのである。

### 婦人の進出

田邊工博の夫人幸子女史高文試験受験の魁となる。つまり行政官として婦人を認めたことになる。之れで知事までも出來たら、どうやら中華民國に追いつく事になれます。警視廳では男子の人事相談振りは旨くないといふので、婦人の社會係に女のお巡さんを置く事になるといふ。

### ロケット

獨逸伯林のハイマン・オベルト教授は、一秒時に四千ヤードの突進力を與へる鋼鐵製の高七



経済学界の驍將

福田徳三

時事放言十則

- 一、東に経済学界の驍將福田徳三博士逝き、西に女義界の明星豊竹呂昇逝く。
- 二、獨逸へ國際大學對抗陸上選手大會に、加奈太ヘラグビーの遠征に、布哇へ水泳の大會に、我選手は轡をならべて海外へ進出。
- 三、鶴田義行選手の二百メートル平泳二分四十四秒は世界記録と公認され、これで日本水泳界は三個の世界記録を持つことになる。

- 五、米國のシヤキーキー對シヌメリングの拳闘選手權大會切符の賣上高百萬弗突破。
- 六、英佛米は四月中旬より十月初旬まで、例によりサンマー・タイムとして一時間時計の針をくりあげて時間の節約。
- 七、ロツクフェラー一家は紐育眼貫の場處へ、二十七のラヂオ放送場、四つの劇場、一大音楽演奏場を建築のため五億圓放資。
- 八、米のブロッカー劇場ではジョン・ギヤムブ樂長が數哩隔てたアレキサンダーソン博士の實驗室に座し、テレビジョンと電話により見事に演出する。
- 九、青梅警察署から退職したお巡さん櫻井篤君は七十二歳の高齢で、明治二十六年七月巡查拜命後三十七年間無缺勤。
- 一〇、大學の卒業生のお巡さんが何が可笑しい。電鐵では車掌になつてゐる運轉手になつてゐる、東京では屑拾ひの八百三十名の中に五名居る。

東京帝國大學教授

福田徳三



# 五年九月號

## 軍 縮 會 議

ヨネコモエイコモ、イヅレモベンツウアリ、アサヒコイマダニベンピ、クダ  
シグスリヒマシユスグオクレ

## 野 球 禁 止 令

愛知縣一宮市で毛唐人の洋服と靴で身をかためた小泉第三師團長閣下には「野球ちうものは  
毛唐人のやる事ぢや」と、訓示して面喰はせたといふローカル・ニュースがあつたが、伊太利  
では體育よりは勝負にこだはり過ぎるといふので、ムツソリニ首相は野球禁止令を出した。眼中

政黨ありて國家なし、黨争にのみこだはり過ぎるといふので、日本でもいづれ其うち政黨禁止  
令なるものが出るはず。

## 颯 風

風速毎秒四十一 米氣壓七百六ミリといふ世界記録第四番目の颯風が琉球から九州を風靡し  
た。此世界記録中三つまでは日本だといふから、地震ばかりかと思ふと颯風にまでも恵ま  
れる日本である。吹き序に吹き飛ばしたきものがうよ／＼してるが、政黨屋は眼先きにばか  
り氣迷うて、吹き飛ばしどころか一生懸命突つかひ棒をしてる。

## 說 教 強 盜 訓

警察からは盜難豫防法として『外は明るく内は暗く』と宣傳してゐたが、強盜六十四件強盜  
傷人一件、強盜強姦一件、窃盜四十餘件により、四千枚の豫審調書をつくらした說教強盜妻木松



吉は、メートルの上るのををしんで電燈を消して寝るからは入りやすい、電氣をつけてあるとは入りにくいに御氣がつかれないとほざいてる。此男別に電燈會社から收賄の疑ひなし。

### 三高の校庭管理

海外に斷然超越して其名聲を擡にせる學校のストライキも、日本大學、浦高、早大等々相次ぎ、京都の三高に至りてまさしく最高潮に達した。一、寮の非自由化反對 二、代表會議の自主化 三、佐藤生徒主事即時辭職 四、保證教授制度撤廢の四箇條を要求し、容れられないといふので校庭管理といふ直接行動に出で、一班六十名づゝの警備隊を組織して、生徒が校門を占領し、一面には生徒の鐘語を行ひ、一面には校長先生が見えても之を誰何し、安否を案じて駈けつける父兄まで撃退するなんと、しきりと大義親を遠ざく。

### 對岸の地震視

南伊太利の大地震には死者二千四百四十二名負傷者四千五百五十一名と註せられてる。エマヌエル陛下慘害地域に巡視せられ、アリアノの村落にては危険なる崩壞物の上に登られ、親しく死體の發掘を手傳はせられたりと傳へられる。地震の慘禍と各國よりの同情を體驗せる日本は、之を對岸の地震視するのであろうか。

### 日伊親善不時斷絶

日伊親善の爲めロムバルデー及カンパニー二兩飛行士は、其愛機ファイアット號を日本學生航空聯盟に贈る事となり、立川飛行場で名残の飛行を試みると、春田聯隊長殿には飛行場使用願を受理してないといふのでアツサリと飛行の中止をお命じになる。伊太利大使はじめ一同は大に立腹して送別宴にも列せずそのまゝ引きかへす、日伊親善此ところ不時斷絶。

### 飛行老夫人



シカゴの上空でジョン及びケネスの兩ハンター兄弟は、二十三日と一時間四十五分則ち五百五十三時間四十四分の間、空中で耐久飛行を續行して賞金二十萬弗を得たとある。が、これにもまして、六十歳から飛行機操縦を習ひ初めた當年六十四歳のベッドフォード夫人は、既に航空五萬哩のレコードを持ち、一昨年は倫敦印度間を往復七日半で突破し、本年は倫敦ケープタウン間往復一萬九千哩の鵬程に二十日といふ新記録をつくつてゐる。  
男子とやらんいひはべる若い人達何の面目かある。

### 生繭の冷蔵装置

人造絹絲で横つ面をはられても、なかに天然絹絲には人造絹絲の及ばぬ特色がありましてと腮を撫でゝゐるが、米國の不景氣には一とたまりもなく粉つば微塵にけし飛んだ日本の生糸界には、生産費の輕減といふ唯一の綱が残されてあつた。

そこへ東京高等蠶糸の教授三宅文次郎君は七年間の研究をつゞけて、生繭の冷蔵装置を發明

した。従來の乾燥費に對して冷蔵の費用は生繭一貫目に三錢、年額九千萬貫に對して七百萬圓の節約になるのみならず、糸をとる能率は乾燥法に比して二割五分、糸量に於て二割の増加を來たし、生産年額約十億圓に對し一割乃至二割の增收を見るといふ。古語に曰く窮すれば通ず。

### 發明 四 則

蓄音機とラヂオをかねたフィルム・レコードが吉岡正彌君によりて發明された。

傳染病研究所の矢追秀武博士と、笠井久雄氏は純痘苗の皮下注射に成功した。

トラホーム菌に關する故野口英世博士の業績は、デトロイトの醫學大會に於てフィノフ博士により證明せられた。

京城の志賀潔博士は癩菌の人工培養に成功して、癩の感染にはビタミンの缺乏が原由せる事を立證した。



雜件五則

超特急八時間五十九分にて東京神戸間を突つばしる。  
 日露戦争に生残の唯一人の司令官奥元帥遠逝す。  
 原田、太田、安部、三木の各選手遂に伊太利に破れたりと雖ども準優勝まで頑張る。  
 朝鮮京畿道の文永萬全身に角が八百本。  
 名古屋管内の十二支線は八月より列車内にて車掌が乗車切符を賣る。小手荷物も切符なしにあづける便法も設ける。

不景氣四則

山形の東村山郡の作谷澤村では夜間廢燈早寢、結婚は男子二十五歳女子二十歳までは延期に議決。

長野縣小縣郡にては小學校教員の減俸に校長連反對とあるに憤慨し、小學兒童の盟休斷行。  
 東京市では事務員及技手以上の市吏員に減俸斷行の氣配強し。  
 秋田大館在では十八人の子を生んで十三人まで殺した一家あり、避妊？ 墮胎？ 嬰兒殺し？ 生活苦？

景氣のよい話

失業不景氣で氣の滅入つてる人達に一寸聞いてもらふ。  
 シカゴの千萬長者マツコーミック夫人は、別居してる廢人の夫から年に三十二萬圓づゝもらつてゐたが、贅澤を抜きにしてもそれでは生活出來ないといふので、八十四萬圓要求の訴訟を起した。夫の方では、せめて四十萬圓に負けてくれといふが、女の方では最低生活費八十四萬圓を支持して斷然動かない。  
 加州ハリウツドのベビースターにジューン・ドワン・スミスといふ可愛い女の子がある。収入



は金二萬圓なり。驚くなかれ年收にあらす、月收にあらす、一週間の收入である。

(五、七、三一すみれ丸にて)

### 五年十月號

#### 皇太后陛下の御仁慈

皇太后陛下には 昭憲皇太后の御名に於て癩患者の救護に當れる社會事業に對し、それく御下賜金あるべく御沙汰があり、殊に静岡縣神山復世病院 長ドルワー・ド・レゼー翁が佛國の貴族の出として明治六年我國に渡來してより癩患者の治療に盡力し、八十二歳の高齡に達して今や病重きよしを聞召され、特に御使を差遣せられ生花と目錄を贈られたと傳へられてる。有りがたい事である。

#### 軍縮條約と樞府

春秋に曰く『昭和五年夏八月樞密院國事を憂ふる事とても斷然夥し』又曰く『行政整理により法制局を廢し、その事務を樞府にうつすの議熟す』

#### 蓼食ふ蟲

支那の政局には銃砲戰と黄金戰、日本の文壇では片や腕力と片や曝露筆戰、樞府ではニタニタと笑ひながらとつねつたりいぢくつたり、中々以て谷崎潤一郎の佐藤春夫へ千代子夫人をあつさり譲り渡したようにはまゐらず、樞府には蓼食ふ蟲なるものが無いらしい。

#### 絹地洋服

支那では洋服の材料は大部輸入品であるといふので、反帝國主義思想が服装にまで現れ洋服



着用者に課税せよとの聲が高まつた。ところで夏洋服地の多くは支那産の絹と麻であり、そこへ婦人の支那服と洋服との區別がつかなくなる。又男子服では孫逸仙の常用服として今尚流行して居る中山服が、原料は外國品であるがこれ又洋服とのケジメがつかないので、此洋服課税案も實行難に陥つてゐる。

ところで日本ではおくれ走せに絹地愛用といふ聲がもちあがつた。といふのは絲價暴落の對策として蠶絲中央會がとつた五萬梱の共同保管と十五萬梱の罐詰は、絲價を壓迫し米國市場の不況と相まちて空前の難局に陥つてゐる。そこで絹地の國産愛用羅紗地の輸入品防止といふ立場から、絹地洋服が宣傳されて來た。絹の生地は脊廣三つ揃ひで十二圓、これが普及すれば一年一億三千萬圓の羅紗地は輸入防止となるといふので、内閣諸公それごとく絹地洋服注文といふ段取となる。緊縮の大方針から見ても、肌ざはりがヒヤリとしてまさしく夏向きである。

麻雀とは何や！

不景氣不景氣とあへいでる中へ麻雀は流行のトップを切つてゐる。内地製で淺草の下方屋では一月の賣上高一萬圓、六大デパートで二萬圓以上はけてゆく。横濱の關稅だけで昨年中約四百組二千餘圓の關稅收入が、今年の上半期に五千四百組、約三萬圓の關稅收入とあり、いづこの街でもボン！ チー！

馬並にまゐらず

不景氣と人口過剰で失業の聲がましい中に、南阿ケニヤのナイロビ牧場スターク大佐のもとにあつた、純アラビヤ産の牡グツト、ゲーム牝パトラいづれも十二歳の名馬は、價格一頭につき金三十萬圓にて輸入された。人間もこうなつては馬並にはまゐらず。

省線の不正客

鐵道省線の不正客昨年八月より丸一年間に發見した件數だけが四萬七千人、此追徴金四萬四



千圓、ことに會社線から會社線へ通ふときは連絡驛の無検査をいゝ事にして煙管乗をする。此連絡驛の臨時改札により見出した不正客の職業順位が  
學生、會社銀行員、職工、商店員、商人、教員、給仕小使  
といふ事になつてゐる。教育が大事であり知識は重寶なりといふ事がよう示されてゐる。

### 早矢仕照子、安川はる子

深夜密かに裏畑でマントを冠り、パン焼きの研究にうき身をやつして芋パンに成功した早矢仕照子夫人あれば、斷髪して男装となり年若き女性で苦心十年、塵芥と人糞の焼却爐により、燼炭肥料の産物に成功した安川はる女史がある。

### 海外異聞

サハラ沙漠に地中海の水を注ぎ込んで沃野とする計畫があれば、金五億ルーブルを投じて

ベーリング海峡を埋立つる舉あり、歐亞が連絡せらるゝのみならず、西伯利亞は暖流によりて温帯化されようといふ。

米國オレゴン州サレム市で火事があつた、水不足で消火不能となり、牛乳屋より牛乳を徴發して消防。

歐洲唯一の佛寺伯林郊外のフロナウの聖林で、曹洞宗特派石田義道師により内外貴賓の前に世界大戰獨逸無名戦死者のための歐洲最初の佛式追悼會が行はれた。

### 戀に上下の別なし

匈牙利國の王位に即くべく墺國前帝の遺兒オットー殿下と競争關係にあつた前帝の甥アルブレヒト太公殿下は、前ブルガリヤ駐劄匈國公使ルドナイ氏の夫人イレネ・ルドナイ夫人の離婚の手續の終るをまちかねて結婚の式をあげた。太公は戀の爲には王位も何かはと、オットー殿下に謹んで忠誠をぬきんでる旨誓言をおくり、自ら王位につく權利をきれいさつ張りと放



棄した。

滞空と耐ダンス

セントルイス飛行場の上空をグレーター・セントルイス號に搭乗せるデール・ジャツクソン及びフォレスト・オブライン兩氏は、シカゴでハンター兄弟のつくつた五百五十三時間四十五分のレコトドを破つて、六百四十七時間二十八分三十秒乃ち約二十七日間の滞空レコードをつつた。

シカゴで世界ダンス選手權獲得のため、去る四月十一日から八月五日まで既に百十六晝夜と二十時間、アン・ジェリー嬢マイタ・ガウヴァス組とデレス・ワイト嬢ジョン・リトツク組の二組は、いまだに踊りをぶつつけてゐるといふ、この根氣には樞府の面々も兜を脱ぎなはるやろ。

金儲け三口

不景氣不景氣と泣言をならべるなら、好い金まうけの口を二三紹介しませう。

米國プリムス自動車會社では『何故に私はプリムスを買ふか』といふ事を尤もよく説明した論文の應募者中より千人に懸賞、二等賞五名には一年間世界一週の旅行をさせ、其の費用を負擔する、一等賞には終身年金一千弗。

露國ハリコフ市では若きコムニスト廣場といふ處へ四千人收容の劇場建築につき、世界的に總額四萬六千五百ルーブルの懸賞募集をする、二等賞八千留、一等賞一萬留。

猶埼玉縣久喜町では正金六萬圓をのこし、八十三歳で亡くなつたおひやく婆さんあり、相續者無くして宇宙に迷うてるが、此方は誰でも頂戴できるといふわけにまゐらず。

ポーナス金五百萬圓也



製鐵能力二十萬噸と公稱せられてる米國のベレスへム製鋼會社では、ヤングスタウン鋼板會社と合併に當り、ベレスへム會社の重役の賞與は多すぎるといふので反對訴訟を起してゐる。社長グレースは會社純益の三パーセント三二をうける契約によりて、昨年中賞與として三百二十五萬圓、一九二五年以來は既に通計一千萬圓以上にのぼつてゐる。もし合併すると一年に五百萬圓になる、それではあんまりぼろいといふのである。アメリカやないかケチ／＼云ふなといつて見ても、なるほど一年に五百萬圓は少ない事はない。不景氣風の最中には聞いたゞけでもエ、氣持である。

身長七尺六寸四分

朝鮮全羅北道革玄寺の坊さん金富貴當年取つて三十五歳、體量三十二貫二百匁、足のたけ一尺三寸、小舟のような靴をはいてゐる。一日の食糧三升五合、身長は出羽ヶ嶽より高き事更に一尺餘で七尺六寸四分、今京城の衛生展覽會に招待されて來てるといふから正味間ちがひなし。

うどん粉を交ぜて引きのばせるにあらず。

原阿佐緒と乾新兵衛

原阿佐緒女史東都銀座のサロン・ハルより大阪南地のカフェー・日輪へ、一月に四日間裙臨してサーヴキス料二百五十圓をとる事となる。

富一億圓を擁してゐる乾新兵衛翁は背任とか横領とかなるとかいふ疑獄のため、六十九歳の老齡をかゝへて神戸から東京へ召喚され、差入れもの二十五錢から一圓までと聞いて勿體ない二十五錢で結構とばかりに市ヶ谷の刑務所入り。

牧野正藏

陸上競技には獨に佛に瑞西に國際競技に奮闘をつゞけてゐる。東京の國際水上競技には當年取つて十七歳の濱名の牧野正藏選手は、千五百米自由型決勝に千米にては十二分五十七秒六



といふタイムで、アルネボルグの十三分〇二秒といふ世界記録を見事に破り、更に十九分三十五秒二といふ驚異的記録でオリムピック記録をも破つてゐる。

### 美術シーズンへ

世の中は甲子園の中等學校野球シーズンより上野の美術シーズンへ！

樞密院では倫敦軍縮條約の口述試験に汗だく、どうした表裏で政權が動くまいものでもない  
と手に汗握るは政黨屋様々達、六千萬の國民にとりては御惣菜のたしにもならぬ事ばかり、この不景氣はどうしたのや、たゞ辛抱してくれといふ與黨、人事のような不景氣がつてる野黨、  
どちらにも呆れてる。

## 五年十一月號

### 癩 研 究 所

皇太后宮の御心を體して澁澤老子爵は癩研究所を創立すべく計畫をすゝめてる。

### 倫敦條約の直後

國防計畫の何分何厘決して事體輕からず、しかも猶輕からざるものにその軍艦を動かす石油  
問題あり。

猶輕からざるものに資源と財力あり、萎靡せしむべからず。

猶輕からざるものに國民の思想あり、健實ならざるべからず。



樞府の腰くだけ

樞密院は法制局でもない。

樞密院は法廷でもない。

樞密院は司法官や辯護士の登用試験場でもない。

樞密院は國政運行の澁滞阻害を目的とすべきでない。

樞密院は倒閣運動の策源地であつてはならぬ。

樞密院は憲法の擁護所なりといふ、しかしそれは窮屈な文理解釋で國政の運行を釘付にする爲めでなく、時勢の推移に従ひ生きた解釋により國政の活動を滑かにすべきである。

樞密院はよくよくでなければゴテるべからず、先づ大山巖どんや西郷從道どんのような心持で居てほしい。

樞密院は御諮詢に奉答するのである。大局を達觀して上皇室に累を及ぼすような事はくれぐ

れも避けねばならぬ。噂だけでも審査不能の旨を上奏しようなどとは言語道斷である。

昭和五年九月十七日倫敦條約樞府精査委員會は否決とも審査不能ともならず、腰くだけとなりて可決となる。是あるかな、是あるかな。

政友會總裁曰く

樞府精査委員會腰くだけの前一日に、政友會大會が開かれた。今までウンだとも潰れたともだまりこくつた倫敦條約に付き犬養總裁は

「ロンドン條約案に關し政府が軍令部の同意なくして全權に對し回訓を發したるは明かに統帥權干犯である」

「兵力の均衡と國民負擔の輕減と二者共に喪失せる條約案は我邦としては成立の意義を没却せるものである」

と聲明した。憲政の確立擁護に全生涯を没頭した木堂總裁より此言を聞く又何をか言はん哉。



統帥權問題を根底より解決すべかりし好機を逸したる濱口首相にあきたらざる我等は更に木  
堂總裁の聲明を聞いて只啞然。

政友會は五年後の軍縮會議のときまで現内閣がつゞくとも、その時には現内閣に代はり更に  
又下りて野黨に廻り合はせる時分なりと見込んだわけでもあるまいが、さし當り軍備の經濟化  
と宣言してゐるのはどうなるのか。

### 支那芝居

北方反蔣派では九月九日北京懷仁堂に於て北方政府委員就任式を舉行し、主席閻錫山は「余  
は誓つて故孫總理の遺教を遵守して本黨の主義政策を實行すべし」と宣誓した。

これで孫總理の遺教を遵守する者が南北に相對立する事になつた。委員七名中唐紹儀、汪兆  
銘、謝持など兵力を握らざるものは暫くおき、閻錫山、李宗仁、馮玉祥、張學良、この  
どんぐりの脊くらべがどうなるかと見てゐると、石友三の暗中飛躍により北方の旗色怪しと見

るが中、武力調停とかいふので張學良の滿洲軍は京津の乗り込んで、北方政府は三日天下と  
なつてオジヤン。

あとから理くつをつければ如何様にも説明も出來ようが、支那の政界ばかりは秋の空や猫の  
眼や仁丹の廣告燈の遠く及ぶところにあらず、どんでん返しに眼にも止まらぬ舞臺効果のあざ  
やかさ、いづれ此文字が印刷になつた頃は、又どのようにダークチエンヂをする事やら。

### お巡りさん改稱?

巡査一名お巡りさんとあつては、猶農家を百姓と呼び實業家を町人と呼ぶが如く、親しみあ  
つて威厳なしといふので、警吏警査巡吏などと職名を變更せんす詮議區々なり。コリヤ貴様な  
んだと嗚鳴り散らす巡査様に、威厳なしとはこれ如何にと問ひかけたら、警察署長殿が探偵社  
長に恐喝されて數百圓いたぶられる世の中だからとさ。成る程これは威厳が無い。



### 氣の荒い東京

不景氣になると人氣があらくなる。  
 自動車を乗り廻してゐる内に運轉手の息の根を止めて河へぶち込み、その自動車でブウブウとあと白浪をきめ込むお客さんなる者もあれば、安心し切つてゐる虚に乗じて安全地帯の老若男女をひき殺す、更に一步を進めて交通巡査をひき倒してあとを雲霞と消えてしまふ運轉手もある。江戸の眞ん中では全く落ち付いて生きて居られない。

### ナンセンスの米國

空中、樹上、自動車、ダンス、墓穴内などの耐久競争に、ナンセンス百パーセントの米國では、チュウインガムを幾日まで永く口の中に入れて居られるかといふ競争をはじめた。車内でエロ氣分を發揮し男女が猛烈にキツスするので、ポーとなつて自動車が顛覆する、自

分は負傷したからと訴へた運轉手は、勝訴となつて一萬一千七百八十三弗せしめることになる。夜の野球空中ゴルフに興じてると見るが内に、飛行機のコンパートメントに長さ六呎幅三呎の玉突臺を据ゑつけて、上空飛行中玉突を試演したが成績頗る良好であつたと鼻高々。航空定期飛行に搭乗を拒まれたので損害賠償の訴訟が黒人から提起されたかと思へば、ある州では白色婦人にサヨナラといひかけてリンチされた黒人さへある。

### 新橋藝者學校

新橋では藝者をモダン化しようといふので學校が開かれる。洋樂ダンス英語からスポーツ百般に亙り、漫畫から短歌俳句もよいとして、金解禁に樞府と倫敦條約など時事解説も辯じ上るといふのだから、乳入政岡の言ひ草ではないが、こりや御婦人方にも早う公民權を差上げずばなるまい。

### 秋のスポーツ



人見絹枝女史あり女子國際競技に日本は獨波英に次で第四位となる。  
米國へ出かけた蹴球團は六勝一分無疵で歸朝する。  
織田幹雄選手名譽の引退をする。  
不景氣風吹きまくる中を六大學リーグ戦はじまり、ボールをカツ飛ばす聲戛として秋の中空に高鳴る。

東飛行士とコスト少佐

報知新聞社の吉原飛行士の歐亞橫斷飛行に前後して、米國から歐山米水を越え東洋に飛んで來た東善作君、在米十四年の間に稼いだ金と家内の金と合せて一萬二千弗をつくり、飛行機を求めてロサンゼルス市から單騎世界一周の壯途にのぼつた事誠に前代未聞である。  
同じ時に佛國ではコスト、ベロント兩氏が大西洋逆コース橫斷成功といふので、全國町々では國旗をかゝげ、ヱイミーの町では祝砲をはなつ、大統領からはコスト大尉を少佐に昇進する、

各方面よりの賞金は積り／＼して既に五十萬圓を突破せりといふニュースがある。此際此時日本では東飛行士を迎へてどんな風に歓迎したと思召す？

五年十二月號

大内山

教育勅語四十年

明治神宮鎮座十年

觀菊の御會に教育家宗教家社會事業家が召されてゐたが、更に今秋の御會から發明家が召される事になつた。



快 報 四

六大學リーグ戦では忍苦十有四年、法政大學は早慶を壓して悠々覇權を握つた。  
布哇縣會に日系市民の立候補者五名、内三名は見事に當選した。  
學生航空聯盟を代表して法政機は明春を期して訪歐飛行を執行する事になつた。  
帝展に鑄木清方の三遊亭圓朝あり、福田平八郎の鯉魚あり。

樞府と動機不純

倫敦條約の御諮詢に際し動機不純なりとして朝野の非難を浴び、遂に土俵際で見事腰くだけとなつた樞府幹部に對し、此際積年の一部專横なる行爲と因襲を打破すべしと、院内から樞府規程改正の火の手をあげたが、伊東伯はだから云はねえ事ではない、これも動機不純だとばかりに反對してる。

禁酒？ 節酒？

米國では共和黨と民主黨が禁酒法の撤廢競争をはじめた、制服の警官まで一寸一杯と聞こしめす。

獨逸では強い酒はもとより本場のビールまで今年は昨年より二割から三割の消費減になつた。

アール百〇一號

英飛行船アール百〇一號は佛國の上空で爆破して、航空大臣はじめ四十七士の犠牲を出した。遭難地に近きボーヴェイの教會堂に於ける葬儀には、佛の大統領首相はじめ閣員全部が列席した。そこには英皇太子ウエールス殿下が見えられた。



武官愛錢

陸軍大將前朝鮮總督山梨半造閣下には、當時の秘書官や秘書や昵近の人々と法廷にらんで、顔を眞つ赤にし聲をはげまして互にのゝしりわめいてる。何んでも五萬圓貫つたとか、とかいふ事件らしい。

無殘黨

無産黨は小さい身代を小刻みに分裂してゆく。もう此邊で打止めかと思ふと勞農黨には河上上村神道一派が更に大山黨首に解消の火の手をあげた、無殘黨なるかな。

興奮と盟休

永井柳太郎代議士から余は中國を一等國と見て尊重してると云はれた蔣介石將軍、コハ怪

しからぬ侮辱かなと卓を叩いて興奮すれば、早慶戦の入場切符の割り振り當てがよろしくないといふので、早稻田一萬の學生は盟休す。

日本のレツテル偽造

露國政府は自國の鮭鱒の罐詰製品を函館におくり、日本製品のマークを偽造貼付して佛國方面に輸出せるもの、今夏以來七萬五千箱に上る。

日本の製品に歐米のマークを偽造貼付する事は聞き古るしてゐたが、その日本のマークを偽造貼付するとは初耳である。ケンカラ露國の仕打であるが、之れは眞似するより眞似される方が少々よろしい。

エロの世の中

書籍雑誌の広告は云はずもがな、新聞の社會面もモチであるが、所謂案内廣告欄を一べつす



べし。ある日のある新聞の案内廣告欄をひろげて見ると、正に依て件の如くである。

吸ひ付く様なエロサービス

甘い夢の様な印象進呈

といふカフェーの廣告があれば

一室一圓時代要求

茶代祝儀廢止

ダブルベッド備有

といふホテルの廣告がある。若しそれ待合に至りては

美妓の心行くまでの

厚いもてなし

粹の終りまで

特遊六圓經濟的に

萬事意のままです

特遊六圓より凡てをふくむ

オーライ

何が濱の家をさうさせたか

金四圓で必ず満足を得

お極り六圓半

萬事解決

御同伴歓迎

何んとエロの世の中では御座らぬか。

エロのアメリカ



紐育ではハイスクール程度のところ、最近四百八十三名が結婚の爲め退學した。大部分は十六歳だが十五歳のもの八十三名、中には十二歳の女生徒がある。四百八十三名中三百六十五名は學校内で結婚の御約束が出来てゐたといふ、エロ全盛の米國さすがに先輩は先輩だけの事はある。

### 芝居の合理化

芝居王國松竹にも大緊縮合理化の聲明があつた。いかさま十月興行の歌舞伎座で中幕平重衡に扮する中村歌右衛門老、病氣のため立ち上る事が出来ねばアンヨも出来ず、舞臺に安坐する事正味三十分、興行二十五日分計十二時間と三十分なり、此報酬金七千圓也。

### 不景氣の波

芝居のお客が減り出した、葬式がめつきり少くなつた、葬儀費用の節約にあらず死に切れない

いのなり、もうこうなると不景氣も底ですなといふ。但しバアにはヂヤズの音を絶たず、麻雀の卓をかこむチー、ポンの聲賑はしく、どこに不景氣の風が吹くかとばかり、殊に競馬のシーズンとなりて、先づ鳴尾では六日間の馬券の賣上高は三百五十萬圓突破といふ。此秋の米國の野球のワールドシリーズの入場料が二百三十萬圓といふから、必しも驚くには當らねど、さりとては此不景氣のさなかに競馬場のスタンドはフアンの波で財布の底をはたき、こゝを先途と戦つてゐる。空谷首相首をかしいで豊作だから不景氣だとは分らないねフ、ンといつてゐる。

### 徳川義親、服部金太郎、稲田おみの

名古屋大會根の七千餘坪の別邸を名古屋市に寄附し、國寶に準すべき什寶は美術館を建設して之に納め將來國の所有にうつし、七萬坪の小牧山は小牧町に寄附する。麻布の本邸も佛大使館にゆづり渡した舊尾張の藩主徳川義親侯は曰く、財産を多く残すは結局家を早く没落せしむる。足不足は心の問題である、一と通り暮せたら仕合せだ、とばかりに候は東京郊外平塚の



生物學研究所に引き上げた。

十五歳の時京橋の唐物屋で小僧をしてゐた時計王服部金太郎翁は、七十一歳の誕辰を卜して三百萬圓を割き財團法人服部公報會を建設し、社會に有益な發明發見研究の獎勵公益事業の援助をなす事となつた。

奈良八木町の大家主稻田のおみのばあさんは獨り子に死にわかれ、今さら見にくい遺産争ひなどはいやとばかりに、住宅を移して共同墓地の墓所にし、住宅の敷地は公會堂敷地であて、約七十萬圓の財産は全部町に寄附する、おのれは六疊二間の小屋に御先祖の御給仕をしながら餘生をおくる事となつた。どれもこれも時節柄小氣味のよい話で筆をおく事とする。

### 六年一月號

### 濱口首相の凶變

昭和五年十一月十四日濱口首相陸軍大演習地に向はんとし、東京驛のプラットホームにて兇漢佐郷屋留雄の狙撃するところとなる。明るい首相清い首相、謹嚴なる首相、律義な首相に此凶變あり。首相の快癒を念じて水垢離を取る男女あり、神佛に祈りをあぐる老若あり、首相崇拜者にして痛心昂奮のあまり自ら命を絶ちし青年あり、幸に應急の輸血と鹽田博士の冴えた手術其功を奏し、不思議にも危い命拾ひをした。

命絶ゆれば首相の洩らした最初の詞の如くまさしく男子の本懐である、快癒すればまさしく再生の命である、よろしく不退轉の信念を以て奉公すべきである。それにしても憎むべきは犯人である、憐むべきは兇漢である。後年獄を出て市井の間にさすらひ恥さらしな所業でもあれば、犯人の爲に悲しみ首相の爲に歎き風教の爲に憂へねばならぬ。

『日本の社會は最も此種の狂人を産み易い、彼等は感情の衝動によつて一切を顧みない。社會



を驚動し新聞紙上に名を掲ぐるを以て目的としてゐる、故に重大事件は必しも重大原因あつての故ではない』

この詞は暗殺などに汚されない英國の倫敦タイムスあたりの評論らしく聞えるが、お隣りの天津大公報の社説だから豈夫れ恐縮せざるを得んやである。

### 豆相の震災

昭和五年十一月二十六日豆相の地大に震ふ。人命を失ふもの二百二十五人、崩壊戸數六千二百餘、損害二千萬圓に及ぶ。

震災と颱風に恵まれたる日本！

國富とやらんいふ氣象臺の技師は、此度の烈震は十日程前から判つてゐたが、僅か一日の事で豫報出來無かつたのは残念だといつてゐる。どうやら一足違ひであつたらしい。

### プロ文士の剣闘

雑誌文藝戦線による勞農藝術家聯盟に屬するプロ文士の間に、脱退組と残留組が筆や舌では面倒なりと、日本刀を振り廻はし、焼きゴテをかざして亂闘劇の實演をやつた。焼きゴテは着物の火のしにばかり遣ふものと思つたら、人間の頬つぺたの火のしにも活用される。尤も面の皮は大分厚いには厚かつたのだから矢張り火傷をしたとある。

### 逝く者

實業界で淺野總一郎翁、落語界で柳家小さん、いづれもうんと働いただけ働いて亡くなつた。

### 煙突男田邊潔

亞米利加では双兒の小供二組が樹上に幾日であつたか、かなり長いレコードをつくつたため



しもある。川崎の富士紡の争議に煙突の上で赤旗を振つて百三十時間と二十二分逗留したとて驚くにも當らないかも知れないが、之れが争議史上の一戦術となり、附近の廣場には群集が押しよせて、おでん、汗粉、今川焼さては、貸眼鏡屋など軒を並らべ、飛んだ失業救済になつたとは、相手が煙突男だけに面黒い。

佐藤與作君と山口恭佑君

去る七月一日から毎日缺かさず市立施療病院へ、パンや菓子包を八十人分から百人分と根氣よく寄附をつゞけ、十萬圓近い資産を殆んど投げつくして京橋南小田原町のパン屋主人佐藤與作君あれば、深川大工町の空地にテントを張つて、毎日數百人の失業労働者に粥を接待する市外西久保恭愛會の山口恭佑君あり。

鐵道疑獄、取引所疑獄、勳章疑獄、さては凌辱、暗殺、争議、盟休ばかりの世の中にも無之と相見え申候。

泥炭國と日本製靴下

人造絹絲で面喰はされてるところへ、チエツコ國では泥炭から僅か九時間で絲をつくる、値段は六割位ですみ耐久力はとても強いといふ。

そうかと思へば日本の男靴下一足が只の三片で英國へ投賣りされてる、これでは遣切れないと英國下院に日本製の靴下を持ち出されて堂々めぐり。英國の經濟使節一行紡績工場を見て口あんぐり。

世界横斷飛行家アールス夫人

自動車操縦の心得があるとはいへ、飛行機の操縦は僅に六週間足らず、それで五千圓程度の飛行機に乗つて、只一人ブルース夫人は英國から日本まで飛んで來た。若い婦人が只一人大空を横ぎり地球をまたにかけ飛んで來た。



大阪の朝日講堂の歓迎講演會場で人形の贈り物を手にした時『私は地圖の上をコムパスではかると、つい何でもないような氣がして此計畫を立てた。多くの人が濠洲に出かける故私は日本へと目ざしました。今此人形を頂戴しまして、出發の際十歳になる我子の見送つてくれ姿を見て、フト一時此計畫を止めて見たいような氣持になつた事を思ひ出します。子供はさだめて毎日々々地圖をひろげて母の飛行のあとを逐うてませうから、學校の地理の試験には屹度満點を取りませう』と氣輕にも胸に浮ぶまゝスラ／＼と挨拶した。實以て簡單至極である。聞けばブルース夫人の華かな空の都入りありてより、立川の日本飛行學校へ女流飛行志願者が殺到する、中には失戀の若い女が『立派な飛行家になつて憎らしい男を見返してやり度い』と泣きつくのもあるそな。其中若い燕を誘拐して飛行機で印度あたりへ飛んでゆく大年増も出てくるだろう。

## 六年二月號

### 濱口首相輕快

濱口首相無事におならもする、字も書く、ひげを刈る、おぶへもは入る、アンヨも出來てきた。これならばどうやら道中双六で御機嫌を伺はずとも、日比谷原へ出かけられそう。主君御身の上一大事とあつて俄かに色氣づき、しなをつくつて身振りした味方の面々、イザ先づ控へられませう。

### 電話民營案

電話民營案なるものあり、出るの出さぬのとゴツタ返した擧句の果てが、どうやら議會へ顔



を出しは出したが、中味は豫算なしとある。まさに汗粉や雑煮の比にあらず、實行の伴はない法案など出してどうするのか。ゴタ／＼と會期を混雜に紛れて過さんず皮肉の計略かといへば、左に非ずといふ。眞逆に田中内閣の自作農法案の二の舞でもあるまいが、鶴のような労働組合法案と相ならんで、議會の惑亂をますばかりが能でもあるまじ、中味の抜けた法案なら始めから引つ込めるがよし、如何に電話急げばとて……

### 賣れ残り處女一千八百萬人

歐洲の大戦で尤も生殖能率の強い血氣の若者が何百萬、いや千萬以上亡くなつた。あとの人口増加率の減退はもとよりだが、婦人が馬鹿にあまつて來た。勞農ロシアの四百萬人を筆頭に獨逸が三百萬、英佛が各二百萬、歐洲を通じて賣れ残りの處女一千八百萬人なり。過剩呼はりするは品物ばかりにあらず、相手の眼色毛色が變つても我慢して、日本男子とやりに物申す、狭い島の中にくすぶつて、押すなくと酔詰になり、失業々々と叫ぶに及ばず、ノシ／＼ズイ

／＼と歐洲にくり出すべきもの也。

### メルクルと赤星

米國から又々世界的ゴルフの大選手メルホーンとクルイツクシヤンクの兩名が乗込んだが、駒澤の第一回戦で見事赤星兄弟の爲に土をつけられた。勝負は時の運とはいへ、さりとして日本人は馬鹿にならず、日本からゴルフの世界選手權を争ふべくアメリカへくり出すのも遠くない。

### 氣の小さい先生小さからざる先生

女房に遁げられてヒカインのあまり、此世に生きてゐる甲斐もなしと毒を仰いで死んだ先生があれば、お金ほしさに女房にウント生命保険をかけたあげく、女房に毒をのませてあの世へ送り届けた先生もある。

世の中には氣の小さい人間と、甚だ小さからざる人間とある。それが偶學校の先生に現は



れたまで、ある、もと／＼エライから教員や巡査になるといふにはあらず。

宮下開一君

生徒を引つれては往來で草花を折る、電車汽車では喰ひ散らす吐き散らす。そうした小學校の實地教育をいつも見せつけられてると、世の中は廣いもので山梨縣南都留の西桂小學校では、便所がいつもとても綺麗になつてゐる。今日まで誰とも氣が付か無かつたが、八年前から一日も缺かさず人の知らぬ間に掃除されてゐたのだといふ。それは誰でもない校長の宮下開一君によりて。

グラント・オペラとオリムピック

失業難で内閣の一角まで崩れた英國では、ジャズやレビウに押されてグラント・オペラの凋落するをなげき、向ふ五年間毎年十七萬圓を英國歌劇獎勵保存の補助金として交付する。同じ

失業保險で首が廻らず、議會は解散する獨身税に官公吏の給料減などと、緊縮にうき身をやつしてゐる獨逸では、ロスアンゼルスのアリムピック大會に百四十五名の選手と十五名の役員を送るため、四十五萬マークの豫算を計上した。地震の研究費を増すどころか減らそうといふ地震國の日本などの伺ひ知るところにあらず。

白髮結婚

前世紀の一八八三年に婚約をきめたが、女房の兩親がどうしても許してくれない。辛抱して獨身生活をつゞけたりな四十有三年、首を振り通した兩親があゝの世に旅立ちて、こゝに白髮の老夫婦が初婚の家庭をつくる。どうしてこうした根氣の強い話は日本には無い、處は友愛結婚で名を賣つてゐる米國の加州オロヴイル市のドゥイス夫妻のニュース。

猿之助松竹を去る



市川猿之助松竹を脱退して市村座に立てこもる。理由が何んであるうと、もとく日本中の役者様が松竹といふ一傘下にみんな抱きこまれてるといふ事が常態にあらず。

これが大幹部とかいふ五人の大親方が、氣前よくボンと大部屋に投げ出された一人當り大枚金一百圓といふとてつもない大金に眼がくれるくれぬといふ問題のためにあらず。

これが歌右衛門大親方一人の、二十分間舞臺にエンコしてのおしやべり料金を辭退すれば、大部屋の衆一同が二割減といふので、五圓十圓と御給金のあたまをへづられるのが助かりますといふための問題にもあらず。

世の中は動かないと面白くない、いや一つところに固まつて動かすに居るものではない。只その動く時の賽の目が猿之助に廻り合せてといふまでなり。

猿之助の一門五十餘名ずらりと脱退したは聞えたが、もはや左團次の一門がずらりと脱退といふような時節はとうの昔に消えて仕舞つたらしい。只先代左團次の時よりの譜代の一門、あの荒次郎、左升の兩名が手をつないで猿之助の許へ走つたのを見ると、いさゝか感慨無量なる

もの、豈それ左團次の出を待ちかねてイヨ一大統領とあびせかけるフアンのみならんや。

### 六年三月號

#### 醜 議 院

帝國議會とやらんいふ處では、首相代理と首相の別如何とか、それは濱口の責任になるとかならぬとか、ヤレ幣原は黨人で無ければならぬとかなぜならぬとか、國民の知らんとし聞かんとする極めて刻下緊急にして重大なる問題に貴重なる時間を潰して御座る。

帝國議會は四十年來の傳統をまもり、恒例によりて暴行亂闘懲戒問題をかつき出してる、醜議院の名に恥ぢずといふべし。

論戰すべき議場は演説妨害の道場となつてゐる。演壇をブチこはし安來節を歌ひ鱈すくひ



でも踊らせるがよし、醜議院の名に背かずといふべし。

井上死んで仕舞へ！

南無阿彌陀佛

お父さん歸ろうよ

賣國奴

妾三人

十萬圓

ドロバウ！

女學生

裏長屋の熊公八公さへも口にするをはぢるこした言葉が、鬚をひねり禿頭を光らせつゝ國民の選良と號する人類の舌端から連發せられる、醜議院の名に値すといふべし。

しかも翻つてかような人類を選出した連中を省みよ、更に議會の傍聴に出かける手がその亂闘罵倒劇を喝采し、更に地方の演說會にはそうした猛者を歓迎するを見れば、一體世間様が醜議院の有様を歎き悲しんでゐるのか、それとも善哉々々と譽めそやしてゐるのか、わしにはよく分らん！？

もち廻り持ち

日本では一人の職工が八臺から十二臺の織機を使つてゐる。四臺しか使はない保守の本山英國でも、ランカシャーの企業家側はさすがに眼覺めて織機の扱ひをふやさうといふ、職工の方はいやといふ、日本全國の織機の約十倍も動かしてゐるランカシャーでは、七十萬臺の織機が休む、二十萬人の職工は失業となる。そこで此の爭議が長引くと日本の紡績屋は人の禪で相撲をとることになる。

そうかと思へば、日本の生絲は人造絹絲により一大脅威をうけてゐるが、更に米國ノースカロライナ大學のキヤメロン教授によりて、棉花を人絹に代へる新操作を發見し、棉花纖維の二割五分から二割八分までは人絹生産に尤もよく適してゐる、費用は更に現在の人造絹絲の原料の二十分の一以下の費用を以て足りるといふ報告を發表してゐる。

そうかと思へば絹地の内地使用奨励とあつて、陛下の御下命により六種の絹地軍服が試織



されつゝある。

商戦陣頭の英國品

經濟國難の塗炭場にある英國は經濟征服の大軍を南米にむけ、今春アルゼンチン國の首都に價格千萬圓の物品を陳列する英國産品の大博覽會を開設し、英皇太子には自ら其の商業戦線の陣頭に立ち、亞國の國境より一九三一年型輕飛行機に搭じて會場に台臨する手筈になつてゐるといふ。

佐々木勇之助翁

人間は兎角死ぬ事を忘れてる。

人間は兎角後進が支へてゐる事を忘れてる。

さきに關西では湯川寛吉翁は住友王國の總理事から圓滿に退職した。今關東では佐々木勇之

助翁は在勤五十有九年の長きに亙り第一銀行から圓滿に引退した。同じ春に負つゞけ炭團の山を積んで引退した横綱と大分にちがつてる。

朝 日 賞

昭和五年度の朝日賞は、

萬葉祕林の 佐々木信綱博士

安藤廣重研究の 内田實翁

テレヴィジョン機の 山本忠興博士

魚紋及び草炎の 川端龍子畫伯

二百メートル平泳の 鶴田義行選手

の五氏に贈られた。恰かも四年度の朝日賞をうけた栖原豊太郎博士は、今紐育で一秒六萬枚の早取寫眞の實寫にヤンキーをアツといはしてゐる。



市井の美男殿谷政次郎君

自分ら夫婦がかつ／＼其日を送つて人夫風情の身でありながら、大正十二年の大震災の最中に芝園橋から身投げしようとする八十八歳の見ず知らずの婆さんを救ひ、芝新堀の裏長屋に引き取りて九十六歳の最後まで、まめまめしく實子も及ばぬ奉養をつくしたといふ美譚が、疑獄とエロでゴツタ返へして同じ東京の眞ん中にあつた。君姓は殿谷名は政次郎。

職工から減俸強請

「歐洲大戦當時待遇をうんと善くしてくれたが、近頃は不況で大分困つてるようだから一割減俸してほしいと一同主人に申出たが、どうも主人が頑固で聞いてくれませぬ、どうか一同の願を聞き入れるよう主人を御説得して下さい」と二十三名の職工を代表して、高輪警察へ恐れながらと伺ひ出た男がある。早速その主人を呼び出して見るとまさしく事實相違之れ無しだから

色々説得の上漸く一割減俸となつたといふ、嘘のやうな本當な話が學校争議でウンザリしてる同じ東京の眞ん中にあつた。

主人といふのが芝白金志田町の鑄物工場主で町田富吉君。

アブク金

失業者七百五十万人と何事にも第一を誇る米國では、スタンレー・マコミツクは、三ヶ月に五百五十萬圓使つて、金使ひの荒いレコードを作つたと思ふと、ヘンリー・エル・ドハチイは、娘がはじめて社交界に出る披露の爲め、一夜の宴に二百萬圓を使つて、さすがのヤンキーをアツと云はせた。たつた一と晩に二百萬圓！

耳聞五件

モスクワ音樂學校の大講堂に於て、ヒデマロ・コノエの指揮する音樂會は全都の人氣の中心



となつてゐる。

米ラーランドのノーマン・フラッドは情人と名のつく婦人前後四百人、二十三年間に二十九人の婦人と結婚した離婚した。

大垣の料亭川吉園の女将おひろさんは、二十五萬圓の全財産を惜気もなく公共事業に投出し、電機學校創立者の廣田精一翁は土地一萬坪と金を母校に寄付し、貸金全部約三四萬圓を棒引にして瞑目した。

廣島縣御調郡河内村の村長選舉に政民兩黨が互に高齡の候補者をおつ立てる。一方が八十九歳に一方が百飛んで四歳なり、年長とあつて百四歳翁當選はしたが耳が聞えず眼は利かず。ダグラス・フエヤバンクス來り、サカロフ夫婦見ゆ。不景氣とやらんいへど東京も大阪もどの芝居も補助椅子を出して大入滿員つゞき。

### 六年四月號

### 日比谷卵塔場

暴行、脅迫、公務執行妨害まではまだよろしいとして強盜！ どうです諸君！

強盜！ これが帝國議會とやらいふ亂闘場に於ける議員各位の奮闘努力に對して、民政黨側から政友會の精銳どころ三十人あまりを告發した罪名であります。

地方民より代議士宛電 ナグラレタヨシオミマヒモウシテグ  
代議士より地方民宛電 ナグラレタナドトハウソダナグツテヤツタノダ

### 今期重要法案？

労働組合法案は御手元にて骨抜となり、選舉法改正案は樞府御老體により頭をチョン切られる。此あんばいでは婦人公民權案もいづれ議會で胴ぬきになりそうだと思ひきや、更に府縣公民に及ぶべしとの御託宣、誠や女ならでは夜の明けぬ國。



市町村だけでもよし、婦人の公民権行使とならば泥仕合だけでも緩和されよう。

學校洪水

卒業期近いて就職運動に火花を散す。世界の不景氣の洪水が今や失業者二千萬人を突破して。滔天の渦流に逆つて就職に喘ぐ青年の境遇は誠に同情に價する。何分にも世界大戰の好景氣に浮いた浮いたと全國に學校の總花が振りまかれた。官立の高等諸學校だけが今や百十校、學生の數は七萬に近い。これでは景氣が好くなつてもはけて行かれよう道理がない。戦後繫船して世の中にかまはず造船してると同じ事だ。

人間の相場は學歷ばかりではきまらない。理研の三十五歳の助手岡澤鶴治君は小學校を出たばかりだが、此度理學博士の學位を授けられる事になつた。

船腹調節

世界大戰の爲め船腹がとてつもなく膨れ上つた。戦が止むとありあまつた分だけ繫船とすゝる外がない、というて繫船料を支拂ふのはつらい。止むなく？ 盛んに衝突、坐礁、火災、沈没にこれつとめた結果、全損の分だけで昨年中驚くなかれ三十二隻六萬三千噸！

映畫と麻雀

そりや不景氣やろ！ 正月はモチだが、霜枯の二月だつて東京の劇場は客足よろしいと興行主はアゴを撫でてる。映畫の見物は東京だけで一年に四千萬人といふから、銀座あたりのバアーをうろつくモボモガ、さては麻雀をカチャつかせる者に至りてはまさに算無し。尤も田舎に行くや或駐在巡查の報告に『目下アサスマメ飛來せず従つてその被害を認めず』とある。

國葬費の勘定書

いづこの國も秋の夕暮とあり、財政難でピークいつてるが、ルーマニア政府では自由黨首



領にして前首相たりしヴィンチラ・ブラチアヌ氏の功績を稱し、盛んなる國葬式を営んだが、此程未亡人へあて大藏省から二萬四千圓の國葬費の勘定書を差しつけた。

保険金二百萬圓也

近頃蒲田の女優が顔に一萬圓の保険をかけたと、大見出しで新聞に書き立てられてるが、アメリカのパラマウントの十歳の少女優ミツチーグ・リーンは金三萬圓也、但しそれは一年の掛金で保険金は二百萬圓也、少々桁がちがふ。

テレヴィジョン掛合

278 所 紐育市、甲地、ウエスト街四六五番地、ベル電話研究所。乙地、ブロードウエー一九五番地、アメリカン電話電信會社事務所。

人

甲乙兩團各四十人宛の婦人技術クラブ員。

仕草

テレヴィジョンによる御茶の會。御互に一人づつテレヴィジョンの前に至り、自己紹介や色々の會話を面白可笑しく交換。

成功又成功

平海秀晃君は一年に三萬呎も輸入されてる活動フィルムの國産に成功した。

理研の鈴木庸生君は毎年一萬二千噸の輸入を仰いでるアルミニウムを、粘土を原料として製出することに成功した。

大阪高校の上田兼二郎君は原油量から二十乃至四十パーセントしか採取出來ぬガソリンを、九十パーセントまで採取するに成功した。

大阪工業試験所長の莊司博士は獨逸製のように優秀なるレンズの國産に成功した。

大阪醫專の宮田訂博士は腎臓病に特效あるネクリヂンなる藥物の發見に成功した。



生き金死に金

日本から送つた倫敦條約批准書を急送するため、吹雪の中を米大陸横断飛行中墜落惨死した  
コールドウエル中尉追悼の爲め、東京澁谷の一小學生福島繁慶君がお小遣ひの中から金七十錢  
也を送金した。

アメリカ陸軍航空隊の將校連大に感激して各自出金し合ひ、福島少年の名前を付したる銅  
製の花環をつくる事になつたといふニュースがある。

何億といふ金を投じて山東に出兵し、國交を離反せしめる事もあれば、金七十錢也で國交を  
敦くすることもある。」

山梨大將無罪也

贈賄した幾人かは處罰をされたが、受賄したといはれた前朝鮮總督山梨大將閣下には無罪と

宣告された。檢事は控訴したといふが先きの事は分らない、兎に角無罪となつた。朝鮮統治の上  
に誠に目出度候ひけると額に手をおく者もあれば、それだから餘計に困ると顔をしかめる者も  
ある。

此世智辛い世の中に金五萬圓也を差出した川崎某、之れが前から山梨大將と相識の間柄であ  
り、山梨大將が政黨の幹部となつて居り、川崎某とやらが朝鮮に何等利權漁りをして居らな  
つたとすると、よしんば山梨さんが偉人であろうがあるまいが、見ず知らずの仲であろうがある  
まいが、偉人崇拜のお賽錢といふ事がよからうがよかるまいが、幾分か辻褄が合ひもしようが  
なあなどと小首をかしぐ者もあり。ナアーニ一旦懷中に及んでも、返却に及んでるからエ、ヤ  
ナイカとソツポを向く者もあり、武臣錢を愛し法を免れて耻なしではと眉をひそむる者あれ  
ば、當世やがな野暮をいひ給ふなと背中をポンと叩く者あり。  
いづれにしても無罪となつて結構な事なりけり。(六、三、一、横濱驛にて)



# 六年五月號

## 春は逝く

ロボット内閣より頼冠り内閣へ。  
 何等の對策なく暴力本位の野黨。  
 絶對多數を擁して無爲無能の與黨。  
 逆に流れに棹しつゝ暗中に活躍する研究會。  
 黨争ありて國家なき下院、國運阻止を以て任ずる上院。  
 此の如くにして多事多難の昭和六年の春は流れてゆく。

## 此議員に此議事堂

いんちき、もぐり、ごまの蠅、三百、がま  
 これが衆議院豫算委員會に於て、區裁判所廢止問題で答辯に立つた渡邊司法大臣に、浴びせかけた選良とやらん申しはべる方々の彌次つた詞であります。  
 院外團が院内へ押しかけて閣員や議員に直接行動をとる、それにもあき足らず速記者まで袋叩きにする世の中であるから、車力馬丁すら口にしない雑言をしたからとて今更驚くにはあたらぬ。  
 こうした代物を盛るべく帝國議會新議事堂は落成に近づきつゝある。一萬噸に近き鐵骨、三十二萬立方尺の花崗石を以て。延長二里に亘る廊下、三百九十の室を造り上げ、五重塔がそつくり其まゝがらくくとはいる高塔、何んの實用にも立たぬが金ばかり何百萬圓とかかゝつたといふあの高塔を中央におつ立て、二千八百萬圓といふ大金を投じて、國力は貧弱なりとも議事堂だけは世界第一だとはかりに。これならば何千人押し合ひへし合ひ血を流しても、ピタと



もしないといふのだから、豈夫れ素的ならざるを得んやである。

### 婦人公民権と高女と貴族院

婦人公民権案が衆議院を通過して貴族院に送られると。

モダンガールといふ中性のお化けの爲にする案である、家族制度の美風を破壊する案である。

婦人は亭主に仕へ子供を生み育て、洗濯してゐるべきである。

といふので、六十二票對百八十四票の絶對多數にて葬り去られた。

今や小學校を卒業して高等女學校に入學せんとするときに

電話の送話機に向つて發した聲が、向ふの人の耳に達するまでの順序と理由を書け。

閏年に於てすでに過ぎ去つた日數の二倍に等しくなるのは何月何日か。

ダーウインはどして長生が出來たか、又其の進化論とはどんな事か、何故に學界を根本か

ら動かしたか。

古事記傳は何人が何時作つたものかどんなものか。

などいふ試験問題をうけつゝある、こんな事は苟くも貴族院御歴々の諸公ともあらん者、

百も承知二百も合點だと云ひたいが、とても怪しい危つかしい。

貴族院で四大節とは何ぞやといふ試験問題を提出して、相手は人もあろうに文部大臣田中隆

三閣下をして眼を白黒させたといふから、まさしく此高女入學試験は難問であらう、事實問題

は難問であらうが、それがとも角にも年齒十三四歳の女子供の受験問題である。

あゝした問題を受ける子供達の成人した折に公民権を興へようといふのを、さうした問題に

御答辯覺束なかるべき老體達が、怪しからぬ事ぢやのうと葬り去つたのである。

### 鼻摘み江戸の花

我日本帝國の聲名を内外に發揚しつゝある年中行事中、評判高き醜怪疑獄の中にて「鼻摘



み江戸の花』は第一魚河岸板舟の巻、第二京成電車乗り入れの巻、第三江東青物市場の巻、第四圓太郎購入の巻、全部四巻いよく完成。代議士連を筆頭に名題の被告スターは、赤穂の義士より二名超過して四十有九名、之に参加する辯護士連を合せて約百五十名、登場四月中旬櫻花らんまんの候、日比谷が原地方裁判所法廷にて實寫仕り候。間此段御披露に及び候也。

### 大岡山事件

大岡山の女優三人殺しでは田宮といふペンキ職工が犯人として檢舉され、三年越市ヶ谷刑務所に收容されて獄死したが、此度眞犯人五味田中の兩名が自白によりて、田宮の全く冤罪であることが明白となつた。

法廷で五味被告に田宮の檢舉された事を知つてゐたかといふと、新聞に出たので知つたが、世の中に物數奇な氣狂ひも居るものだと思つたと答へる。氣の毒に思はなかつたかと問ふと、思はなかつたといふ。何にしても、人を殺す事は終生の事業と確信してゐる、殺すも殺されるも前

世からの約束事で、私はこういふ事をやる爲に現世に生れて來たのでせうと、たんかを切るのだからやり切れたものではない。

それにしても田宮の冤罪は可愛相であるというて、警官も裁判官も神や佛ではない、此意味から今度議會に提案になつた國家補償法案は、手おくれながらせめてもの慰安の一法とならねばならぬ。

### 滞空レコード

海軍機が藤枝農學校の屋根上に墜落して、搭乗者の即死、講堂の全焼となりしは稀なる慘事であり、失戀か厭世かは知らぬが鈴鹿山上一千メートルの上空から、須藤某といふ青年の機上よりの飛び降り自殺の皮切りは、藤村某の華嚴の瀑投身と相似て、どうやら流行ものと相成るべき風模様あり。

津田沼に於ける宮森美代子嬢の五百メートル上空よりの落下傘下降は、ロスアンゼルスに於



けるはじめは落下傘なしに一萬五千尺の落下、それが地上に近づく刹那に落下傘を開いて悠々着陸したマンニング青年にくらぶべくもないが、とに角妙齡の婦人であるだけに、以て録するに足る。更に霞ヶ浦に於ける海軍飛行船隊の半硬式八號飛行船の、三月十四日夜半より十七日正午近くまで六十時間の滞空は、一九二六年のノビレ少將の北極探險に於て示されたる滞空記録四十四時間三十五分を凌駕すること十五時間餘、我國航空界としてはまさしく異常なる試みとして其成功を祝せざるを得ない。

發明五件

山形縣山邊町の草履屋さん大場卓二君は、藁から絲をつくる事に成功した。麻紐一貫目二圓一三十錢に比し藁紐は五十錢かゝらない。織物や敷物の原料にはあつらへ向きだといふ。

東京で工學士石川茂吉君は活字のいらぬ邦文植字機を發明した。寫眞を應用するから、文字盤に四號活字一種あれば、レンズの作用で三ポイント半から二十四ポイントまで十種類の型が

自由に寫し出される。トーカー映畫のサイド・タイトルなどは安い費用で百五十種以上樂々と出來上るそである。慶應大學の學生木暮清雄君は機關銃の消音装置から次いで飛行機の爆音消滅の發明に成功しつゝあるといふ。

既に屢々筆にのぼした、利用されないしかし豊富に埋藏されてる砂金から、優良なるバナヂウム鋼を作り上げる事に成功した、大阪工業試験所の上野健二郎學士の發明は、いよいよ四月の鐵鋼協會に於て公けに發表されるといふ。これにつけても思ひ出すのは、砂鐵よりの鐵の仕上げと同じく、褐炭よりの重油の仕上げである。獨逸では大戰後石炭に富める地は割き取られて、褐炭の利用に専心研究を續け、今や全く成功を收めてる。

日本でも此無盡藏の褐炭の利用が何よりであるが未だに試みられない。内藤游博士の低温乾溜により重油を得、その残滓より、燃料としての微粉炭を得る發明は、經濟的にも成功してゐると傳へられてゐるが未だに實現されてゐない。

石炭の高いことが日本工業の不振の重因をなしてゐるにこれは一體どうした事になるのだ、



ハッキリ素人達にわからしてほし。

### シャーキーとジョンズ

ジャックシャーキーといつても、知らない人は知らないだろうが、アメリカの拳闘選手権保持者である。彼は獨逸のシユメリングとの試合に十七萬八千弗の収入を得たが、向ふ五ヶ年間に一千萬弗の収入をあげるだろうといふ。

ボビー・デノヨスといつても、知つてゐる人は知つてゐるだろうが、世界のゴルフ四大選手権保持者である。彼はそのゴルフのプレイをトーキーのフィルムにして五十萬弗、ラヂオの放送には二十回で十萬弗の収入をあげたといふ。

スイープステークの馬券一枚で百七十七萬二千弗の富籤を引きあてる世界と、我國とはどれもこれも桁が少々違ひすぎてる。

### 鶏卵の倫敦進出

支那から肉や卵を輸入されてゐた日本ぢやとても、卵も出来る品質もよろしい、只生産販賣の上に統制がつかなくつたのだ。

此春愛知縣の養鶏組合から一千五十箱(一箱三百六十個入)の卵が比律賓に輸出された。さらに約六十箱を英吉利加奈太方面に試賣された。恐らく丁抹の卵と競争に堪へるだろうといはれる、副業の奨励そこに貿易の調節があり農村の回春がある。

### 免囚保護と往來の子供

二圓三十錢持つて水戸刑務所を出る。三日目に持金はなくなる、何か一かせぎせねばと、寺島の風呂屋へ通り魔のように押し入つて、六人の女子供を手にかけて男がある。

殺傷強窃盗などの新聞種に目を通せば、其多くは一度刑務所をくゞつた手合である。再び罪



を犯す、爲めに受ける損害、人心に及ぼす悪いいやな感じ、警察裁判所刑務所の手数と経費、などに想到すれば、いづれにしても刑務所を出て糊口に窮する者に對する手當につき、只ソロバンづくから見ても免囚保護といふことに一層留意せねばならぬ。

自動車事故

毎日のように自動車の事故がある、殊に近頃は子供に多い。帝都で昭和五年中一年の事故約二萬九千件、負傷約一萬七千人、死亡三百五人、その内自動車事故は約一萬七千件、負傷者約八千九百人、死亡者百四十七人とある。二日半に一人づつ命を失つてゐる。といふて自動車はやめられぬ、日本で事故の多いのは操縦の悪いのが何よりだが、自動車が目まぐるしく飛び廻つてゐるのが一因であり、更に公衆の注意に缺ける點も少くない。中にも子供を往來で遊ばすなどは是非やめてほしい。

六年六月號

清風萬里

首相の印綬を解いた濱口空谷、二つと無い命を二つ得た命をどうするか？ 人境俱不奪。

衣更へて窓より今日ぞ君見るらむ

清風萬里雲流るゝを

若槻内閣成る

昭和六年四月十四日、濱口首相骸骨を乞ひ、大命若槻新男爵に下る。かつて高橋達磨内閣倒れて加藤友内閣となり、次で山本清浦内閣を打止めに、加藤高明内閣となりて憲政も常道に乗る事となつたが、さて考へさせられる事は政黨そのものの中身である。



民政黨も政友會もいづれを見てもパツとしない。民政黨内閣は昭和維新の渡頭に立ちて絶對大多數を擁しながらどうも腰がきまらない。

近頃與黨も野黨も國策の看板を書きならべるは善し、どの箇條書きも皆えゝものはえゝ、わるえものはわるえと記されてある。問題はえゝわるえにあらず、只之れが實現にあり。

### 赤字が出た

歳入をいかに多く見積つても實收がまだ其上をいく、七八億圓といふ國庫剩餘金がダブついた成金時代から約十年間、ふんどしを締めずにフラ〜と坐して喰へば山も空し、とう〜歳計に赤字が出た。不景氣はおれのせいで無いよと言つて見ても赤字を出しては自慢にならず、井上藏相のおとなしくあやまるは理の當然、古語に曰はずや、赤字がわるけりやあやまります。

### 東の王西の王

暹羅國王は渡米の途すがら東都に歡迎の盛儀をうけられ、今米國から無線で國政を見てゐる。西班牙國王は全土を風靡する共和の叫びに位を退き、身を以て國を遁れ海をわたりて英國に蒙塵する。

### 大 京 都

二十七市町村を併せて面積約十八方里半を抱擁した大京都市が生れた。其内十二方里が山林とあつて、八百餘メートルの比叡山も九百餘メートルの愛宕山も皆市内となる。市内の農會は他に其例稀ならざるも、市内の猪狩は世界廣しと雖も我京都市に止めを指す。

### 九十一歳の校長

目白の女子大學に麻生校長辭職して後任は御婦人かと思へば、矢張り男の子、しかも九十一歳の澁澤青淵子爵とある。齡百歳を越え老眼悉く鮮かならざる老人が、杖をひき〜、よろほ



ひよろほひ村長候補に立つ世の中なり、古稀を通り越した老體が樞府とやらんより國政に文句をならべる世の中なり、敢て珍とすべからず。

婦人の海外進出

比律賓のダバオには日本移民が一萬五千人、中で獨身者が六千人ほどある。此度婦人協會までお嫁さんの取持ちを頼み込んで来た。

此間アマゾン開拓青年團員の渡航に婦人を募つたが、存外よりが悪い。しかも應募の大部が丙午の二十六歳であつたので、二十歳前後の渡航者には年齢が釣り合はなかつた。ダバオの方の獨身者には年配の人が多しはず、丙午の婦人達は馬並に海外進出のトップを切るべき事。

よう負けやはる

米國から短距離の雄シムソン、投擲の雄ロザート、瑞西から長距離の雄マルタン等の選手相

次で渡來、我選手と角逐してよう負けやはる。

北洋漁業には暗黒相場のルーブルを中心に、ロシア側から踏んだり蹴つたり、揚句の果ては時價十錢位のルーブルを三十二錢五厘まで引ずられて、他愛もなく負けやはる

快 心 事

ダレ切つた日本といふ國で近頃の快心事は、外には五月初夏の候北太平洋を横斷して報知機は米國へ、西比利亞の大空を蹴つて法政の學生訪歐機は歐洲へ。

内にはキビくした腕の牙えを只棋界の木村義雄と碁界の吳清源に之を見る。

六年七月號

蒸しかへしの減俸



さすがに米國である、赤字が二十億圓に上つた、日本の歳計總額をこのけである。  
日本では六千萬圓の赤字の中から一千萬圓だけの埋立を、蒸しかへしの減俸案による事にしたが、司法をはじめ鐵道遞信各部の集團的反對の聲にたじくんと面喰はされ、判任百圓以上最低率三分、判事は法律の改正をまつといふ事で、僅か六百萬圓の捻出でお茶を濁す事となつた。  
中産階級知識階級はあきらめが好い、團體としての結束力が無いと馬鹿にされて、眼中に置かれなかつたが、これで彼等も御多分に洩れず階級意識に眼覺めたのだ然かあるべきだと當然がる聲もあれば、苟くも官吏が交通事業のストライキを以て上司を脅迫するとは何だ。司法官が法文をたてに取つてぐづるとは何だ、世も末なりと痛憤する手合もある。

減俸御尤

減俸！ 昔は一向に珍らしくもなかつた、甚しいのは半知減祿というて知行が半減された藩も少くは無かつた。だからよいぢやないかといふのでは無い。

維新後俸給は物價の高まるにつれて増俸された事もある、其節は皆の衆は黙つてゐた、いや手を額にして喜んだ事であろう。少くとも怪しからぬと怒つたりゴネたりはしなかつた、だから物價が下れば減俸されても黙つてゐよといふのでは無い。  
まして維新後減俸も前後數知れずといふほどでもないが數回行はれた。その時皆の衆はいつも減俸に甘んじたに、此度に限つて何んの抗議ぞやといふのでは無い。  
これが日本ばかりといふでは無し、伊太利、獨逸、白耳義、亞爾然丁、智利、波蘭、濠洲、英吉利など、至る處減俸が波及しつゝある。日本ばかり御多分に洩るゝの理なきにあらずやといふのでは無い。  
裁判官は減俸に同意出来ぬ、それは法律を擁護する爲なりといふ。その法文の上の減俸といふは懲戒などの場合の減俸であるとか、いや裁判官の俸給も勅令で動かせるとか、色々な議論もあるようだが、何よりも今まで司法官もおとなしく減俸の辭令を受け取つたぢやないか、それが今となつてそれほど法律を擁護せねばならぬといふなら、任意に差額を寄附すればよいぢ



や無いかといふのでも無い。

### 減俸不尤

由來俸給はいつも物價の昂上にすつと遅れて増俸になる、しかもその増俸の率とても物價の増進の比では無い。

世界の大战で物價は戦前より約三倍に上つた、それに比らべては數ならぬ俸給の、増俸になるまでの苦痛は事實生やさしいものではない、しかし世間が成金氣分で浮いたくとハネ廻つてゐるから、定額支給を受ける者の悲鳴も馬の耳に念佛であつた。それを思へば今物價が戦前に逆戻りとなる、減俸するに不思議とも不思議でないともいへる。

しかし世の中は理屈ばかりでは通らない、増俸の遅れるつらさより減俸のつらさの方が骨身にひしくとこたへる。ナアーニ又暮し向きを切りつめたらと一口にいって仕舞へばそれまでだが、さて膨れるは易く縮まるは難し、安達内相はおれはいつも冬の夜寒に終電車を待つてゐる心

持を忘れないといふ、左もありなん左もあるべきだが、さてそうは萬人向きに問屋がおろさない、田舎娘をモガにするは易く、モガを田舎娘とするは難し。

減俸せんとする者も減俸さるゝ者もされんとする者も、いづれも御見事なりと譽めた義理合にあらず、しかし明治維新の渡頭に立ちし越方を追懐すれば、昭和の維新には國民士下舉げて、更に減俸などにうんと輪をかけた眞劍味の覺悟を必要とするのではあるまいか。

### 命長うして譽あり

米國オクラホマでは九十一歳の老人が十九歳の花嫁を貰つて新婚旅行に上つた。土耳其では世界の最高齡者といはれる百五十七歳翁アグア老人は、航空術を練習して航空は非常なる強壯劑であるとメートルをあげてる。

日本では八十一歳で女子大學長となつた澁澤子などの援助で、我國に渡來して傳道すること六十五年、今八十九歳の餘命を奈良に送つてゐるピリヤム師は、故國佛蘭西より送金されし三萬



圓を元にして奈良市に學生會館を建築することになった。

### 危険 保證

知り人の弟を千圓の生命保險に加入させ、殺しかゝつて瀕死の重態に陥れた青年がある、聞けば自分の兩親の苦境を助けたい爲だといふ、人様の命をとつて親孝行がして見たいといふのである。

簡易保險に入つてゐる肉身の娘を絞殺し、その痕跡がありくと残つてゐるので今更に驚いて投身した六十に手のとゞくお爺さんがある、娼妓の身請金百五十圓の金の才覺に手づまつたといふのである。

保險金欲しさに放火もはやる、殺人もはやる、保險は結構であるが危険の保證は恐れ入る、世の中には二つ好い事はない。

### 國産爭議戰術煙突男

淺草玉姬町日本染絨の絶食同盟から飛び出して、同社工場の百三十尺の煙突に上つた第四世煙突男千葉某は、第一世煙突男田邊君のレコード百五十七時間三十分を破つて三百十六時間三十分のレコードをつくり、調停案調印を聞いて籠に乗せられ地上の人となつた。

日本人は兎角猿真似ばかりすると云はれるが、どうして労働爭議の戰術としては、福岡炭坑の『もぐら戰術』といふ坑内籠城、尼ヶ崎爭議の『夜電戰術』といふ深更毎夜の重役邸への電報配達や、『へたりこみ』戰術といふ連日連夜重役邸の玄關先への寢込みなど、いづれも純然たる國産である。こゝに其尤なるものとして煙突男あり、歐米へ逆輸出ものである。

### 高柳と松島

貯金魔高柳淳之助は五年振りで、會社魔松島肇は八年振りで、夫々懲役の判決があつた。何



百萬圓何千萬圓と犯罪も念入りに大口になると、いつの間にか世間から忘れられて仕舞ふ。

### 元帥の偽筆

海軍少將吉岡孟子閣下の箱書、海軍主計大尉藤本鋼長殿の取持ちで、東郷元帥の偽筆を持ち廻つて、十二萬圓稼ぎ上げたのが、海軍記念日に發覺された。

### 日米交換放送

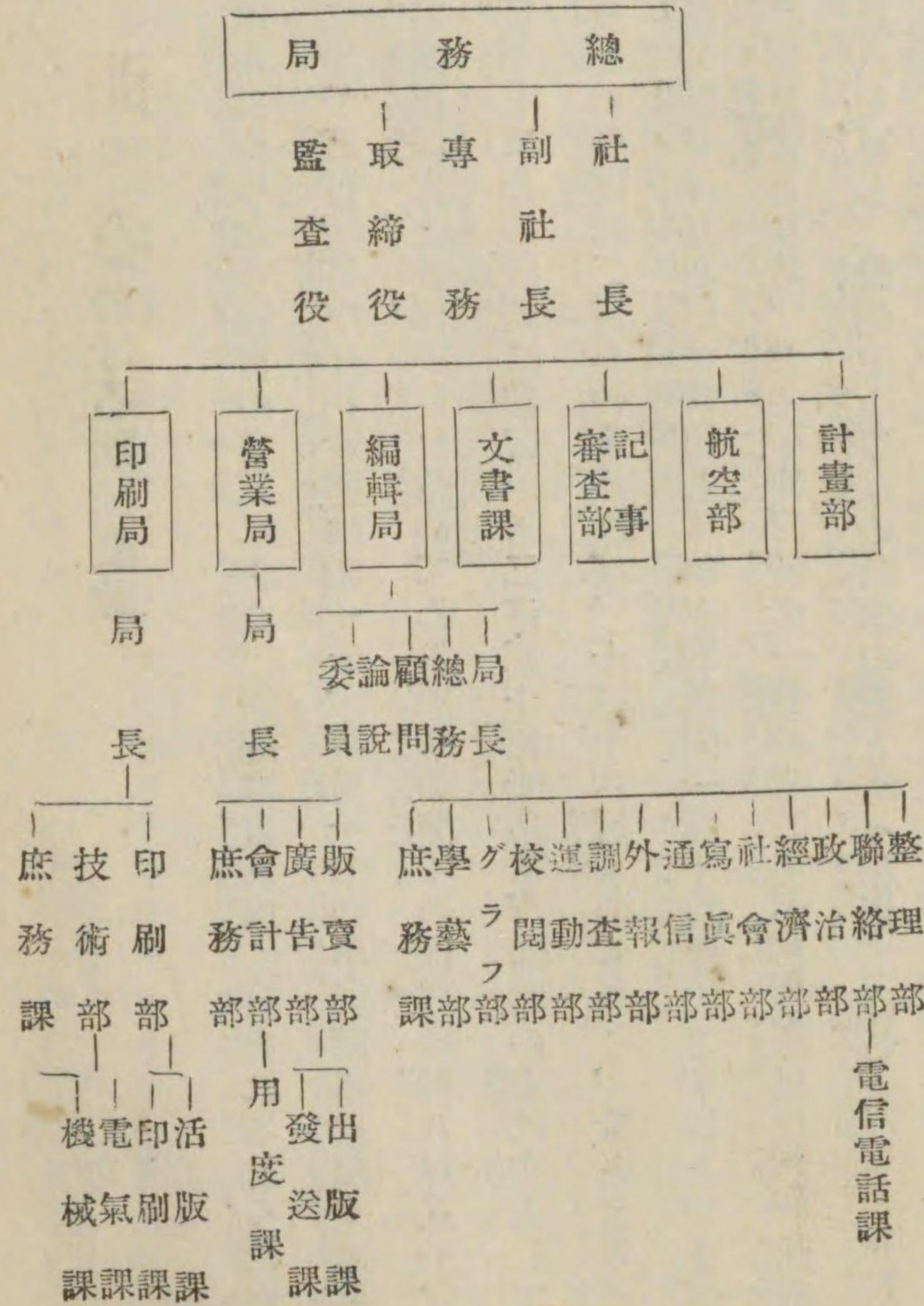
五月三十日北米合衆國のデコレーション、デーに、太平洋の浪を越えて日米交換放送が行はれ、桑港からの管絃樂獨唱さては君が代の國家が手にとるように聞き取れた。  
何としてもラヂオばかりは不思議である。地球とよその星との間に通信が交される事もはや夢ではあるまい。

### 百米十秒五

第四回學生陸上競技對抗選手權大會で文理大の吉岡隆德選手は、百米決勝にリツピンコツトのオリンピック記録、及びハイチノテアードの國際學生記録である十秒六を破つて、十秒五の驚異的レコードをつくり、ワイコフの世界レコード十秒二に肉迫した。又關大の大島選手は三段飛に一五米二三を飛んで、オリムピックの織田の記録一五米二十一を破つてゐる。日本人は身長も短い身重も軽い、しかもスポーツ界では年一年と國際場裡に其歩武を躍進してゆく、これが今の日本でせめてもの快心事である。(六・五・三一)



或 新 聞 社 の 組 織



不安にしたか、社會が如何に新聞の復活を要求したかは今猶世人の記憶に新たなる所である。

新 聞 の 話

ウイリアムス博士は世界の三大強國は日英米にあらずして、サイエンスとビジネスとプレスであるといひ、タイムスのステッド氏は、國王が一國を支配する時代は遠い昔であり、議會が主權を有する時代も既に去つて、今は新聞王國時代であると云つた。

かく云はしむるほど偉大なる新聞の勢力はその重要性にある。その必要性にある。其必要性、其重要性は新聞の消滅せる時に痛切に感得せられる。

大正八年八月印刷工の同盟罷工により四日間東京の各新聞が全部休刊したことがある。近くは大正十二年九月一日の關東大震災は東京横濱の新聞社をして半ヶ月に亙り其發行を不可能ならしめた。當時人心は如何に不安に陥り、いかに流言蜚語が紛々として起り、社會の秩序が亂れて遂に戒嚴令を布くの止むを得ざる事となつたが、當時新聞の消滅がいかに社會を暗黒にし



### 日本に於ける新聞紙數

日本では人口の増加と教育の普及により、新聞は益々廣く讀まれるようになってゐる。新聞の數が既に七千五百、其中日刊新聞は約一千、其又一千の中で時事に關する事項を記載する新聞、即ち新聞紙法により保證金を納めてゐる所謂新聞中の新聞は約八百五十、その中で一流の廣告主が利用してゐる新聞は約百から二百五十位である。新聞の力は主として、其の發行部數にある。一部の新聞に二頁ものもあれば、十頁十六頁ものもあり、もとより正數は得られないが、新聞紙の消費高から逆に押出して朝夕刊新聞一部十頁平均とすると、まづ一日の發行部數七百五十萬部見當となる。乃ち平均二軒に一枚の購讀者がある事になる。此新聞に従事する者は約十五萬人を算し、僧侶や小學校の教師の數と略々相似てゐる。

### 新聞の主眼點

現時の新聞はニウスの蒐集と速報に主力をそゝぎ、海外の通信は通信社又は特派員より、内地の通信は全國に通信網を張りて電信電話を利用し、猶傳書鳩、自轉車、オートバイ、自動車の外、豫約通話、及び直通の専用電話……現時重なる新聞社通信社は、東京大阪間に専用直通線を架設する事になつてゐる……によりて速報せられ、又飛行機は空中よりの撮影、又原稿寫真本紙及號外等の國內國際間の速達をはかり、近時は電送寫真によりて、即時遠距離に於ける實寫を傳送し得るようになって來た。

### 昔の新聞と今の新聞

數十年の昔にさかのぼれば、所謂個人記者活躍時代には、新聞の原稿締切は一日に只の一回切り、午後の四時か五時頃であつて、今夜の夕景に吉原に火がある、翌日の版に組み込みその又翌朝に配達されて、一昨夜午後七時頃北廓に火事ありなどと記載されたのであるから、今から見れば悠々閑々たる編輯振りであつた。現時の東京大阪の大新聞紙は地理的關係交通狀



況によりて、正午過ぎに夕刊を締切り印刷にかゝると、引續いて遠隔の地へ發送せらるべき本紙第一版の締切となり、各地への汽車の發車時刻に順應して第二版第三版と版を重ね、六版七版八版最後の市内版に至りては夜十二時を過ぎ、今朝午前一時銀座の出火とか、夜中の故障にて今曉より水道電車が不通などといふ記事が本紙に組み込まれ、高速度輪轉機により刷上げられ、未明には發送せられるようになった。従來は又所謂今日の本紙だけであつたのが、今では各府縣別に地方版なるものを刷り加へて、その地方版まで府縣によりては一版二版と組みかへてゆく。爲めに印刷機械も明治初年の手押片面刷一枚約二千五百字、發行部數二三千枚位であつたものが両面刷となり、更に明治二十二年マリノニー式輪轉機を輸入してから、印刷界は急速の進歩を見る事となつた。乃ち今までは發行部數も少なく掲載語數も少なく、印刷技術も幼稚であつたから、活字を組み立ててそれから一枚一枚刷り上げてゐたのが、今日では活字を組み上げる、その組み上げた版の上へ紙型用紙を置いて壓搾する、そうするとその紙へ組み版そのまゝの活字の溝になつた型が出来上がる。さうした紙型を何枚となくつくり上げると、そ

新聞紙所在數(昭和三年末)(但有保證金) 日刊

府縣名	新聞數	府縣名	新聞數
東 京	一四六六	愛 媛	一
大 阪	七	熊 本	一
北 海 道	七	青 森	一
福 岡	五	群 馬	一
愛 知	五	栃 木	一
兵 庫	三	山 城	一
長 崎	三	山 崎	一
三 重	二	石 川	一
京 都	二	富 山	一
靜 岡	二	茨 城	一
大 分	二	岡 崎	一
長 門	二	佐 賀	一
新 潟	二	長 門	一
山 口	一	山 崎	一
和 歌 山	一	鳥 取	一
岐 阜	一	島 根	一
滋 賀	一	根 田	一
福 井	一	崎 玉	一
廣 島	一	鹿 嶋	一
宮 城	一	鹿 嶋	一
岩 手	一	香 川	一
		高 知	一
		計	九六六
			二二二二三三三四四五五六七八八九〇〇一

の紙型を圓筒形にした鑄型の中へはめる。これに鉛の熱湯を注ぎ込むと、溝に鉛がはいるから圓筒形になつた組み版そのまゝの鉛筒が出来上がる。この鉛筒を印刷機械にはめ込む、運轉をはじめると、引つ切りなくインキが塗られる。用紙は間斷なく白瀧の如く流れる。此の如くにして約四千四百字のものが四頁で一時間に二萬枚から二萬七千枚位も刷れるようになった。野村宗十郎氏の案出したポイント活字が出来てから、七ポイント五で一頁ルビ(振假名)なし約二萬五千字を收容し得るようになり、近時米國のホー會社、獨逸のアルバート會社などの高速度輪轉機が這入つて來てからは、四頁のものを一臺一



時間に六萬枚から八萬枚位まで刷り出すことが出来、更に最近に超高速と稱して一時間十二三萬枚も刷り上げるようになり、そうした機械を十數臺据え付けて歐米にも稀に見る如き百萬部突破の數を上げるようになって來た。

### 大量生産と新聞収入

東京大阪等の新聞は、土地柄全國的に配布せられるために、大量生産によりて異狀の發達を見つゝある。それだけに政黨の色彩なく記事の正確と敏活と讀者を引つける興味の上に努力を付けてゐる。大量生産は廣告の需要を増して其料金率を高め、廣告の収入の増加は益々新聞の内容の充實となり、内容の充實は益々紙數の擴張となり、紙數の擴張は益々廣告の需要を増し、互に因果の關係をなし進んでゆく。従つて大新聞となるほど廣告収入の購讀収入に對する比率が高くなり、英米などでは廣告収入の方が遙かに多くなつてゐる。又大量生産は紙數の増加と共に經費の割安となるのみならず、其編輯、廣告及び販賣の各機關を活用して、各種の雜誌類

をはじめ、書冊その他の副産物を發行する。これらの副業は獨立に經營して新聞に廣告し宣傳し、得意を新に作つて行く場合に比し、著しく時と手數と勞力を節約し、本紙と相まちて經營の上に少からぬ助けをなしてゐる。

### 新聞と社會事業

此の如くにして生じたる餘力により、社會奉仕と社自體の宣傳をかね、種々の事業を計畫する。即ち社會事業としては、活動寫眞、講演、音樂、運動等に關する催物等が重なるものである。近來は電送寫眞による外、事件によりては活動寫眞によりて東京で起つた事件を撮影して直ちに飛行機で輸送し、其の夜に大阪で公開するが如きは慣例になつて居り、猶之を普及する爲め各地方の隅々まで班を分ちて巡演する。主催ものには寫眞、繪畫、彫刻其他住宅、合理化、消費、食料などの展覽會があり、音樂、劇等の演奏があり、其他教育、科學、衛生、救恤、診療、利用、厚生の方面に通じ、又公益を目的とする事業の主催後援等の會合があり、體育方



面では陸上水上の競技をはじめ、武道、相撲、漕艇、撞球、庭球、野球、蹴球、拳闘等に通じ、航空に至りては新聞自體の業務の上より盛に活用せられ、朝日社の歐訪飛行の如き特筆大書すべき國際的大事業も舉行せられた。

### 新聞と日本文字

新聞の方面から見ても逸する事の出来ない事は日本文字である。日本語はよろしいとして、之を現はす日本字、之には假名文字の外漢字があり、その又漢字が同じ文字を吳音唐音漢音等と支那では或る時或る土地に限つて用ゐられた歴代の發音を、それらに保存して取揃へ發音してゐる。それへ又得手勝手な訓を施して、和歌山のわが大和のととなり、和泉のいになるなど、古いいろ／＼の讀み方の外に、新用語として燐寸をマツチと讀んだり、莫大小と書いてメリヤスと讀むが如く縦横無盡伸縮自在に讀みたくられてゐるから、常用漢字數は東京の七新聞社協議の末、文部省の制限字數一千九百六十一字より猶三十一字を減じ、別に百八十三字

を加へ差引二千百十三字とし、從來の四五千の漢字を使用する時に比較して、遙かに用字の數を減じて見たが、其の限定せられたる漢字も、もと／＼常用であつて、制限外の漢字も準備の必要あれば、その常用の漢字ですら一字にして音訓合せて何十通りと讀み分けられる。そこで昔は活字は活字、振假名は振假名と離れ離れになつてゐたが、とてもそんな事では忙しい今日植字に手間がとれて仕方がない。そこで振假名付の活字、俗にルビ付の活字が出来る。従つて一つの漢字に一々違つたルビのついた活字を備へつけなければならぬ、然も活字に大小の別ありそれ／＼に又相當の員數を備へつけておかなければならぬ。

### 世界主要國著名新聞一覽表

(昭和五年度時事年鑑による)

國名	新聞名
英吉利	ロンドン・タイムス
デリー	デーリー・メール
マンチエスター	マンチエスター・ガーディアン

一、七五〇、〇〇〇  
二五〇、〇〇〇

發行部數







別に鑄造機で毎日何十萬と新に鑄造するために、廣い場所を占領せられるだけでも大變な損失であつて、現在はこの數限りない漢字や、勝手放題なるルビつき活字の植字とその後始末に、大變な時と手數と人員を要する。此時と手數は原稿になつた後に誤植や、そのルビちがひで混雜するばかりでなく、原稿になるまで電話電信又記者の聽取書などにどれだけの間違ひと手數と時間を重ねてゐるか知れぬ。新聞王ノースクリフ卿も、日本で新聞社の活字場を見た時にはワンダブルと云つた、テリブルと云つた、實際驚異に値する。小學、中學、大學否世の中へ出て、結局一生文字の爲に禍されてゐる。我々は何としても語を現はす文字について考へなければならぬ。支那の本國が其弊に堪へずして白文になりつゝある世の中に、日本が支那歴代の既に無くなつてゐる發音まで取揃へた漢字を使用する必要は毛頭無いと信ずる。日本は建國以來まだ三千年にすぎない、漢字の到來は建國より大分後の事だ、しかるに日本の將來は遙かに長い恒久である。日本文字の改善は決して一新聞の問題ではない。

新聞社と通信社

都會と地方を通じ、新聞社と相まちて考慮されねばならぬのは通信社である。世界の重なる通信社には英國のロイテル系を中心として、佛のハバス、伊のステファニ、獨のウオルフ、米のアツソシエテッド・プレス、露のタス、日の新聞聯合を初め、各國の三十餘社聯盟せるものと、米國のユナイテッド・プレスを中心とする我電報通信社等を包含せる聯盟との二大系統がある。

- Associated Press (アツソシエテッド・プレス) 乃ちA・Pを例としても
  - 専用の電線延長 六萬九千哩
  - ニュース供給新聞社數 千三百社
  - 直接社務に従事する者 五萬人
  - 一年の經費 七百萬弗
  - 一日の記事供給分量 大都市の新聞には六七十段



と云ふ大仕かけである。米國の新聞紙の如き何れも普通一段のフィジカル・ニュースはA・D又はU・Pの通信による事とし、所謂特種以外のものにつき、各新聞社が個々に二重三重にニュースを集める無駄を避けてゐる。

### 通信社の使命

日本では電報通信、新聞聯合の二社が國內的に又國際的に活動してゐる。通信社はたゞ海外のニュースを受けるばかりでなく、又海外へ日本のニュースを供給する。此意味に於て此等の通信社は日本と云ふ國の立場から見ても重大なる使命を持つてゐる。同時に此機會に注意すべきことは、日本の新聞そのもの、對外的影響である。日本の新聞の記事は毎日、日本に於ける大公使館、領事館又重なる外國會社によりて精讀せられ、それごとく本國へ報告せられる。ことに日本にも海外から駐在してゐる特派員通信員がゐる。日本の大新聞紙上の論調殊に論説などは、單純に國內にその効果を及ぼすに止まらない。その要旨は世界各國の一流新聞紙上にも、電報

によりて絶えず轉載せられつゝあることを忘れてはならぬ。

### 新聞と社會生活

之を要するに、今日の新聞は國際的に意義あるのみならず、我々日常生活の必需品になつて居る。經濟欄殊に物價欄、相場欄は商取引をなす人には勿論、社會生活をなすものには日々心得ねばならぬことどもである。労働者も書生も乳母も女給も、銀行會社員も家庭教師も、土地家屋や部屋の賣買貸借から各種の會合さては興行物、衣服調度の廉賣から大賣出し、化粧品から醫藥、書籍雜誌、器具機械の廣告から、苟くも文字を知る者は汎く内外のニュースを知ると云ふ事、小説やストーリー記事に興味を感じる等、新聞そのものが日常生活に缺くべからざる必需品になつて來てゐる。その上近時政黨間の争鬭意識が強くなつて、公平なる第三階級を灰色鼠色視し、官民を通じあらゆる階級を政黨の色彩に染めなければ止まぬ勢を示してゐる。此際政黨派を超越して、公平なる批判を下し、國家本位にその向ふべき途を指示するは、まさ



しく新聞紙の一大任務であらねばならぬ。

日本の新聞紙の消費量は一人一年當り約五ポンドで、北米合衆國の五十ポンドに比して、同じ一等國でも精神上の糧たる滋養分のカロリーはまだ十分の一である。我國の新聞はまだまだ多大なる發達の餘地を持つてゐる、ますます責任の重大なるべき新聞は社會奉仕のパブリック・サーバントなりといつてゐる。新聞人も新聞を讀む者も共に之れが健全なる發達に努めさせねばならぬ。ジョセフ・プリッツァー氏は新聞の使命は

進歩と革新の爲に戦ひ

不平若は腐敗は寸毫も假藉せず

政黨派の外に超然とし

特權階級社會掠奪者に反對し

貧民階級に同情し

公共の安寧の維持につとめ

ニュースを獨立不偏のものたらしむべし

と叫んでゐる。日本はまだ歐米諸國に比して新聞教育について甚だ幼稚である。リップマン氏の

世界大戰後新聞記者最高の任務は報導にあらずして指導であり、ニュースの蒐集にあらずして文化への貢獻である。

といつた言葉に徴しても、國民をあげて此の重大なる使命を有せる新聞に、十分の理解を持ち、之が健全なる發達に留意せねばならぬ。

### 新聞の讀み方

新聞記事は新らしく急なるを要する所謂ニュースである。火事があつた二十二戸焼失と記した、あとでしらべたら二十四戸であつた、正確な數字をまつて一日おくれるよりも知りたる限りを以て早く世間に知らさなければならぬ。相違あつた事はあとよりその誤りを正す外はない。



しかし後日になつての正誤は効果がうすい、それだけに新聞は敏活でしかも正確を旨とせねばならぬ。同時に世間の人達もニュースの種を出来るべくんばあらかじめ、正しく供給することに進んで協力せねばならぬ。  
地方では黨派の機關新聞となれるものが多い。これらは過失でなく故意に黨本位より報導せねばならぬ記事を或は黙殺し或は誇張する、甚しきは捏造する、此の如きに至つては論外の沙汰である。讀者は大に割増なり割引して讀まねばならぬ。今日の日本の新聞の改善の一は、新聞を深刻なる黨争化から脱せしめる事である。それは新聞そのものゝ公平なる自主自立のため必要なるのみならず、率て國民に黨争化の波及を防止する効果がある。

# 新聞特種物語

横田千之助君の死

特種を得るための競争意識努力奮闘、さては特種を抜き得た新聞の派手な組込の仰々しさ、特種を抜かれたあとの他の新聞の地味さ加減黙殺振りなど、かなり特種につきても云ひたい事がある。しかし一方が抜けば一方が抜かれてるのだから、話が獨りよがりの樂屋落ちにもなりやすく、又他に迷惑を及ぼすために、氣になつてズバ／＼と書きぬく節も少くない。  
特種には計画的に非常な努力を拂つた結果手に入れるものもあれば、極めて偶然なアツケない他愛のない結果ころげ込む事もある、こゝに他人に迷惑のかゝらない他愛のない特種話を今迄蓋にしてあつたが開けて見る。



司法大臣横田千之助君の病重しと大きな見出しで長々と東京朝日の夕刊が刷り出されると、時恰も議會開會中であつたが、寢耳に水の政友會の幹部より陣笠に至るまで、他の新聞には何等憚れない記事だけに、東京朝日はケンカラヌ、記事の捏造である虚構であるといふので、猛然イキリ立つたほどとても素的な特種であつた。

此特種の出どころは其日の晝の風月堂の楯圓卓子であつて、席上僕は會食して連中に先程横田君を見舞にいつたが、もう醫師も匙を投げて、前田米藏馬場鉄一の二君が來合はしてゐたが、暗然として互に語無しであつたといふ横田邸訪問の一節を物語つた。恰も僕が同行した時の社會部長名倉聞一君が、下村さんそりや本當ですかといふから、嘘にも本當にも僕が出かけていつた直々の話ぢやないか、僕はもう君等の方に知れ渡つた事と思つてゐたのだといふと、名倉君はイヤ／＼まだ知れてませんよとスタコラ社へ引き上げていつた。それがあの特種の夕刊となつたのだ。相手が司法大臣しかも政友會の領袖を以つて任じられてゐる横田君であり、二三日前は紅葉館で主人役の宴會もつとめられた位だから、軽い風邪でとちこもつてるとの

み思はれてゐたゞけに、全く思ひもよらぬショックを與へたのである。當時東京でも又大阪へかへつても、朝日は抜いたな君が居たからだなアといふ挨拶を二三聞かぬでもなかつたが、之れは僕が横田前田法律事務所に入りびたりになつてゐた自分の過去を知つてゐる社外の親友の二三に過ぎなかつた。しかし僕は此間に答へていくら僕が横田前田に親しいからといつて、司法大臣としては閣僚をはじめ司法省の幹部に、政友會の代議士としては黨の幹部その他を通じ、僕に對するよりも、さし當りより親しくより重要に、より緊急なる關係方面が澤山にある。何を好んでそれらの諸君をさし置きわざ／＼僕に知らせよう筈が無いぢやないか、と笑ひ話にしたのであつた。

事實は横田君が熱海に居るとき故原敬君の遺言に關した御互の思ひ出話につき手紙の取りかはしがあり、一度ゆつくりのんびりと會見しようといふ約束になつてゐたところが、君は歸京以來議會のためとても忙しいからわざと遠慮してゐると、新聞は二三日來風邪で引きこもつてると傳へてゐる。かゝるときこそ徒然でもあろう、見舞かた／＼出かけようかと思ふてゐると、



或友人が君横田君はあまりよくないよといふから、それぢや遠慮すべしと差控へてる。翌日さらにも六かしいよといふのでソレツと許りに見舞にいつたのである。その友人は横田君の主治醫のところへたま／＼病氣の爲め通つてゐた某氏であつて、すべてはその友人からの心付に外ならなかつた。特種といつてもかうした誠に他愛のないところから引つか／＼つてくる事もある。しかしこれぢやからといつて、無造作に只の拾ひものとのみ早合點は出來ない。少くとも此場合と雖ども、第一僕がそうした友人をもつてゐた事、第二僕が横田君と親しかつた事、第三その友人が僕が横田君と相當親しかつたといふ事を知つてゐたといふ、少くとも三つの條件が具つてゐたからで、徒に口を開いてゐたからとて柵から牡丹餅がころがり落ちるものではない。(六・三・二四新聞の新聞)

# 黨争と新聞

## 愛黨の深刻化

政黨の弊は益深刻になるばかりである。此ほど九州に出かけたとき大分縣では一哩足らずの處に二つのステーションを見た、一は政友會の分一は民政黨の分とある。民政黨の巡查駐在所と政友會の駐在所が軒を並べ、内閣の更迭毎に駐在所もお隣へ轉宅するといふ村も一つや二つでないといひ、又熊本縣のある警察署では、内閣の更迭と共に署長以下小使まで全部動かされたといふ。



宿屋料理屋などがそれ／＼政友の御用民政の御用と色をつけてるのは珍らしくない。大分の



或る宿屋では政變毎に野黨脱退與黨入黨の手續をくりかへしてるといふ滑稽もある。しかし宿屋料理屋猶忍ぶべし、理髪店まで政黨色がついて來たといふ。この方は襟首へ剃刀があてられようといふ、どうした拍子で一寸と突きとなると、まさしく命懸けである。店のお客も首を撫でく、チャンと色分けになつて來たといふ。

◆ 僕は熊本の公會堂に於ける縣主催の緊縮講演會席上で、此の如く政争が深刻になると、いづれ諸君は消防まで二組こしらへて、それ火事だ誰の家だ？ 政友黨員だイヤ民政黨員だと先づ焼けてる家の政黨所屬をたしかめる、それからそれく、所屬黨派の消防隊がくり出すといふ事にもなる。日本の國そのものはそのので、黨争の爲にのみこれ専らになる、勇ましい事である奇特な事である。もとく我國は人口増加でヘコタレてる、政黨の色が小使給仕にまで及んで來ては、人間が番と引け番と二組あつて然るべしで、人口の消化にも結構な事である、マアく折角黨争に努力すべきであるなどと例の皮肉を飛ばしたものである。

◆ その折に土地の人々が私に向つていふには、全く吾々も黨争の弊に堪へない、しかしどうも長い間の行きがかりで困つた事だくとおもひながらも引きずられてゆく。今日のあなたのような事をいつてくれる人はない、それで私共は今日幸に東京なり大阪なりに政黨政派を超越した大新聞がある。これあるが爲にそこに國本位として進むべき羅針盤が示されてることを痛感してる。いづれ此議會も解散となるでしょう、土地の新聞は全然政黨の機關紙である、何よりも敵味方の真相が分らない、況んや主義主張の是非辨別に於てをやである。此上ともあなた方の健勝と奮闘をいのりますといふのである。

◆ そこで今更に自分達の使命のいやが上にも重きを感じて、東京大阪兩朝日の通信會議にも販賣會議にも右の意味をのべ、我等の嚴正中立公正無私の立場につき此上とも充分の覺悟と精進をのぞむ旨をのべた次第であるが、それにつけても今私が痛感することは此公平無私の立場



が、とにかくに政黨人から色眼を以て見らるゝ事である。筆者などは少くとも私見は絶えず筆舌にのぼして、苟くも此主義主張に同じくば極力支持したい、之に反すれば極力排除したい、その間何等の情實があつてはならぬ。筆者一人にして猶然り、まして兩朝日紙は數知れぬ數百の記者によりて集合されてゐる、明るい公けの合議體である。朝日そのものゝ主義主張は社説其他を通じて紙上に現はれてゐる、その間何等の偏破を殘さない。

嚴正中立と地方新聞の中立化

如何にして嚴正公平に國家本位に進むべきか、之が我等の苦心するところであつて、恐らく同業者諸君も其感を一にする處であろう。同時に筆者としてはかうした立場の新聞は獨り大阪東京といはず、次第に各地方にも出來なければならぬ、それは海外にも實例のある事である。(拙者「新聞常識」中新聞の現在と將來の内第十五條地方新聞につき参照せられたい)日本でもそうした風潮に眼覺めてほしい、それは特に黨争の深刻となれる今日に於てその感を深くするものであり、又地方新聞更生の一つの道ではあるまいか。(四・十一・二九)

議會の歌七首

泥仕合もはや興なしと日の本の

選良とやらんは血をながし居り

失當なりいな失言なりと春七日

國政を議せずのゝしりあふも

言論の自由を叫ぶともがらの

いはさず聞かさざる振舞を見よ



眼中政黨ありて國家なし

墓穴をほるにいそがはしきもの

かれらを鐵のくさりにつなげとふ

動物園は上野と知れるに

苦々しと口にはいへどかのやからを

議會の闘士と皆もてはやす

選ばれしものを責めんよりかへりみて

選りし者ら自ら責めよ

黨争の歌七首

小なき村に駐在所が二つ隣りをり

政友用と民政用と

停車場半マイル足らずに又も出来ぬ

一つは民政の一つは政友の

我汽車はスウキツチバツクしてたどくと

政黨有力者の小なき村へのぼる



寝ぬるも食ふも自由ならず宿屋にも  
料理店にも黨派色あり

警察部長力説すらく消防は

黨派の外に超越すべし

旗色のよい中に再選しておくべしと

村長にはかに辭表をいだす

勢力伯仲村長候補に百歳の

おきな出でたりよろほひく

### 新聞のスペース物語

#### 一 はしがき

新聞に投書はとても多い。

新聞に寄稿したいと申込み人もかなり多い。

新聞に書籍を寄せて批評を求むる人も少くない。

しかし投書の大部は没になる、寄稿の申込みも九分通りは希望に副はれない、批評もなかなか思ふように載せてはくれない。

そりやそうだらう、一々注文を聞いてゐては際限がないからなあと、アツサリ片付けて仕舞へばそれまでであるが、投書する人、寄稿せんとする人、批評を求むる人達にとりては諦めか



ぬる節もあろうし、また新聞社同人の側から見れば、そうした申込を歓迎しながらもその希望に副ひ前にはざる内情は、廣く知つて置いて貰ひ度い。とはいへそうした注文ある毎に一々長たらしい説明講釋付の返事でもあるまいから、その間意思の疏通を缺くことが多いと思ふ。従つてそうした内情を筆にしたこの一篇は新聞常識の一端として一讀を煩はしたい。それは掲載できぬ辯明であると同時に、投書と寄稿もしてほしいといふ意味をかねて。

### 二 自由餘地三頁

筆者は朝日新聞社に籍を置いてあるから、こゝに寄稿さるゝ人また贈本さるゝ人は東京に多かるべきを思ひ、大阪朝日にしても大體は同じ事であるが、便宜東京朝日新聞を引例して話すことにする。東京朝日は平時は朝刊八頁、夕刊四頁、計十二頁であり、一頁が十三段、一段は振假名（ルビといふ）付と然らざる別もあるが、ルビ無しベタ詰として七ポイント五號活字にて百五十五行一行十五字詰として一段二千三百二十五字詰、一頁三萬二千二百二十五字詰、十二頁に

て三十六萬二千七百字詰となる。

ところで投書なり寄稿なりを掲載すべく十二頁の紙面中いくばくの餘地ありやといふに、それは極めて狭いといふのは、約定済の指定席と見るべき分がとて多い、それは大凡次の表の如くである。

即ち指定席が朝刊百四段中七十九段半、夕刊五十二段中四十一段となるから、差引餘裕場面は朝刊に二十四段半、夕刊に十一段、計三十五段半乃ち全十二頁に對し僅に三頁に充たないのだから、全紙の四分の一弱にしか當らない事になる。

朝刊一の面 全部廣告面

同 二の面 寫眞漫畫の類約一段半、地方便り、東人西人、挿込廣告面等約一段半、外

國電報面約二段半。

同 三の面 論說一段半、「レマルク」の小説約二段、鐵筆挿込廣告共約一段、廣告四段、スポーツ約二段。



- 同 四の面 廣告四段、殘九段全部經濟面。
- 同 五の面 小説「風」一段半、圍碁一段、ラヂオ映劇等約二段、廣告四段。
- 同 六の面 全部廣告面。
- 同 七の面 青鉛筆、天氣豫報、外國郵便、本社參觀、挿込廣告等約一段、廣告二段。
- 同 八の面 全部廣告面。
- 夕刊一の面 寫真約三段、小説この男を見よ、廣告、天氣豫報等二段、廣告二段。
- 同 二の面 寫真約三段、廣告五段。
- 同 三の面 小説「戸並長八郎」二段、將棋演藝と映畫、挿込廣告等約一段、廣告十段。
- 同 四の面 相場物價等經濟面九段、廣告四段。

三 記者一人當り三行

今東京朝日には、記事を供給しこれを筆にする者東朝本社と東朝に屬する静岡、長野、新潟

三縣以東の地方と併せて六百名を超えてる。この中から上記の特定の記事に專屬せる經濟部、寫真部等々を除いても、約五百五十名となる。尤も地方の通信員は主として地方版に材料を供給するが、一面には大阪朝日の全社をあげて得たるニュースも交換的に東京へ傳送されるからそれは暫らく差し引いて、さてそれらの人達によりて上記の餘地ありと稱する約三頁足らずを完全に占領しうるやといへば、或る政黨の宣言書とか、或る委員會の報告とか、或る統計數字の發表とか、或る豫算または法案の要綱とか、さうした記事に加ふるに、ヤレ煙突男だ、ヤレダグラスだ、ヤレ五人殺しだなど、かなり場面を澤山に喰ふ大物が頻發するから、結局ベタ詰にしても餘裕ある場面三頁約六千行といふものゝ多くは事實としてそれほど餘裕なく、まして見出しによりて失はるゝ場面誠に少々ならず、結局社員一名に割あてれば、三行の案内廣告の場面だけすら受け持たれてをらないことになる。従つて投書寄稿類の掲載せられがたきは勿論、社員が本職として自動車でかけ廻り電報を打ち汗かくで持ちかへりし原稿すらも兎角液になりやすい。かりに第一版から第二第三版と組み込まれてゐても、何か大きなニュースが突發



する、恰度そのニュースをはめ込むべく格好なスペースが要求されると、その身代りになつて急に中途からオツポリ出されて仕舞ふ事も少くない。

#### 四 週刊朝日にグラフにスポーツ

朝日新聞社では本紙の外に定期刊行物として、週刊朝日、アサヒ・グラフ、アサヒ・スポーツ、コドモ・アサヒ、アサヒ・カメラ、映畫と演藝、婦人等を刊行してゐるが、これらはそれ／＼に氣の利いた材料を記事に寫眞に海外より又内地よりとりまとめるべく一方ならず努力してゐる。しかしその中にはまた本紙向よりこれらの誌上に向いてゐるものもあり、又スポーツなどが年と共に種類も多く競技も度重なるため、本紙に載せ切れなといふこともあり、時には僻肉の嘆ある社員達の鬱勃たる筆のはけ場所にもなつてゐる。まだそれでは切れず……勿論先方からの注文で忙しい中に催促に逐はれて筆にすることもあるが……社外の雑誌類に筆する者も少くない。

現に夫子自らの如きも、いつも本紙面は押すな／＼でひしめいてゐる、編輯と廣告と互に紙面の擴張を要求する、編輯の中でも又各部それ／＼に繩張りを争ふ、そうした主張要求の歩みより示談をつけるのが僕等の仕事の一つであつて見ると、自分はかなり筆まめであつてもそれ／＼本紙面に自分の原稿を押しつける氣にはなれない。僕はかなり社外の雑誌類に筆にすることが多いが、自分としては何よりも朝日の本紙にのせたい。しかし佛の顔も三度である、まして佛ならぬ身のそうそうはのせられぬ、又其内容が新聞紙面にのすべくふさはしからぬものが多い。故にこれはグラフへ、これは週刊朝日へ、これは何へ、これは何へと、それぞれに振り分けてゐる。社中同人には筆達者腕揃ひが多いにも拘はらず、同人の署名した原稿のあまり見うけられないといふのは、まさしく讀者の投書寄稿のせかねるとその趣を一にしてゐる。

#### 五 投書寄稿の種類

投書及び寄稿には甲、その原稿をそのままのせてくれといふのがあり、それには甲ノ一、只も



うのせてくれさへすればよいといふのと、甲ノ二、原稿料がほしいといふのと二つの別がある。  
また乙、新聞紙上へ材料乃ち新聞種を供給するといふのもあり、丙、政治経済といはずあらゆる方面に意見を主張するのもあり、丁、新聞に對する批評なり注文を述べるのもある。これら乙丙丁については中には宣傳もあり誇張もあり時にはねつ造もないではないが、何んでも宜しいその取捨判断は新聞の方で責任を持つてるので、これらの投書類は多々益々歓迎する。數ある投書は直接間接に紙上に多大の影響を及ぼす。新聞が社會の木鐸であるといはれるが、その木鐸たるべく投書が相當の分け前を持つてゐる。従つて誇張なく作爲なき有のまゝの新聞種は尤も歓迎せらるべきであり、何よりも腐らぬうち早きを尊び、また紙面に對する希望も面倒ではあらうが絶えず筆にして心付けてほしい。只好い記事だイヤな記事だと感じたばかりでなく、その感じを卒直に知らせてほしい、新聞はもとゞ社會の鏡である。

### 六 寄稿に對する注文

甲に屬する原稿は紙面の都合上またそのおくられたる原稿の内容により、ことに長きにわたること多きにより容易にのせられない。その要件は第一にキハモノであることである。冬になるスキー、スケートの話がでる、風邪の話も出る、まさか海水浴や避暑の話は出ない。第二に雑誌とちがつてあまり長くなるのは困る、一樣にはいへないがせいぜい三四回がとまりである。第三にその運筆の妙である、というて名文といふわけではないが面白く分り易きをよしとする、あらゆる讀者が讀んで面白いと感じる、よりて何等か知識慾の満足が意識される事である。第四には名前である、それそれに其道の肩書つきの人であるといふ事である。雑誌廣告を見ても讀者は必ず其題目と其筆者の名前によりて値ぶみされる、名前が賣れてる其名前にファンがある、それが見つけどころである。  
しかし名前は始めから賣れない。今日引張り風になつて文壇の名士とても、始めはいづれもかなり下積となつて苦勞した。その中に次第に賣り出してくる、結局その眞價は何んといつてもすぐれたる想と文である。



七 鐵 箒 欄

投書たうしよの一例れいとして東京朝日とうきやうあさひには『鐵箒欄てつさうらん』なるものを設け、讀者どくしやの聲こゑを聞くことになつてゐる。鐵箒てつさうへの投書たうしよは日ひによりて多少たせうの別べつがあるが、その筆ふでにせる論點ろんてんは自おのづから相似あひにてゐる。幣原しははら君くんの失言問題しつげんかんだいが八かましくなつてくると、之これに對たいする是非せひの投書たうしよはとても多い。もしこゝに五十通じゅうつうあるとすればその中所論うちしよろんと筆致ひつちの尤あつとも可かかるもの一つが掲載けいさいされる、さりとて残りのこの四十通しゅうつうは皆掲載みなけいさいの價値かちなしといふのでは無い。しかし同じおな似たものを重ねてのせることは出來ない。しかし何なによりも我々われはその所論しよろんその投書たうしよの數すうによりて自おのづから世論せろんの向むかふところを知しることができる。それは現内閣げんないかくの減俸問題げんぼうかんだいを切り出した時に都會地とくわいちのスタンブある投書たうしよはさすがにサラリーメンが多いだけに反對論はんたいろんであり、田舎いなかのスタンブある投書たうしよは農村本位のうそんほんゐだけに賛成論さんせいろんであつた。投書たうしよの數すうが必ずしも論ろんの正確せいさくな指針ししんとはならぬまでも、新聞社しんぶんしやとしては参考さんかうとするところ頗おほる多い。是これは序ついでながら僕ぼくは筆ふでに口くちに絶たえず訴うたふところであるが、紙上しじやうの記事きじにつきても可かとするもの否ひとするもの、またその記事きじの取扱とりあつかひ方かたにつきても、讀者どくしやは新聞しんぶんは社會しやかいの公器こうきとして有力いりよくなりと認識にんしきすればするほど、アノ記事きじは善よかつたとか悪わるかつたとか、その取扱方とりあつかひの輕重けいじゆうなりさらに記事きじの注文ちゆうもんなり、心こゝろ付けるあらゆる點てんにつき常に投書たうしよの勞らうをしまれぬことをとくに重ねて切望せつぼうする。

八 投 書 の 點 檢

此この一節いつせつは昭和六年六月東京朝日鐵箒欄てつさうらんの係かりが紙上しじやうに報告ほうこくせるものであつて、便宜べんぎじやう上じやうこゝに轉載てんさいすることにした。

◇五月中ごがつちゆう、本欄ほんらんに寄せられた投書たうしよの總數そうすうは五百十四通ごひゃうじしゆつうであつて、その内うち二十六通じゅうろくつうだけが採用さいようされ、その他の四百八十八通しやうはちじゅうはちつうの大部分だいはんぶぶんは遺憾いかなながら没書ぼつしよにした。お氣きの毒どくではあるが、二十六日にじゅうろくにち間に五百餘通ごひゃくごじゆつうが載のせられぬ以上いじやうはどうもいたし方がない。

◇紙面しめんには載のせないが、参考さんかうのため關係者くわんけいしやに送おくつたのが十一通じゅういつつうある。これに對たいする當事者たうじしやの辯べん



明又は謝辭は一々投書家の方へお傳へした。その外に本欄でなく本紙の他の欄に載せたのが三通ある。投書とも決し兼ねて本月に持ち越したのが五六通ある。

◇投書のもつとも多かつたのはリーグ戦と減俸問題に關するものであつた。リーグ戦に關する投書は七十七通を數へた。どうもかういふ投書は刻々に進展し行く経過と伴はぬため投書が後れがちになるのと、今一つはその時の感激に任せてかつとして書いたやうなのが多いで、兎角論理が徹底しない。たゞ投書の大體の傾向として、最初は明大應援團に對する攻撃ばかりであつたのが、事情の判明すると共に次第に明大に對する同情を加へ、明大の出場遠慮によつて攻撃の火の手は全く消えて、むしろ明大の男らしき態度を賞揚するものが多くなつて來た。月の終りに及んで攻撃は審判員の上に加へられた。

◇減俸問題に關する投書は總數百四十六通、その内反對三十一、中立十三、賛成百二を數へた。賛否双方の代表的のものを載せたいと色々苦心したが、双方ともにまとまつたのがないのとどうく載せられなかつた。わざと載せなかつたのでないが載せるべきものが敵味方共になかつたのである。この投書もリーグ戦の場合と同じく、勢ひこんでせい／＼と息をはずませながら書いたやうなので、何をいつてるのか丸で要領を得ないのが多かつた。賛成の方では地方農民の貌狀を説くもの、反對の方では中小官吏の泣言が主なる理由であつた。どうも兩つながら首肯の出来るのはなかつた。

### 九 我邦及び歐米の出版界

新聞紙上に批評をのぞむ意味で新刊書をおくられる方も少くない。こゝに新刊書につき少しく話して見たい。

最近五年間の内務省納本數を見るに

大正十三年	一四、三六四
大正十四年	一八、〇二八
昭和一年	二〇、二二三



昭和二年 一九、九六七  
昭和三年 一九、八八〇

とあり、更に昭和二年における世界各国の統計を見るに、

露西亞	三六、六八〇	獨逸	三一、〇二六
英吉利	一三、八一〇	佛蘭西	一一、九二二
北米合衆國	一〇、一五三	波蘭	六、八八八
伊太利	六、五三三	匈牙利	四、四二四
丁抹	三、二九三	瑞典	二、六五二
ブルガリヤ	二、三七九	西班牙	二、三七六
瑞西	一、九〇九	諾威	一、二三八

とあり、日本はまさしく露獨に次で第三位となり、英、佛、米を凌駕してゐる。日本の知識慾の盛んなることは認められるが、それにしても他の國々とその統計の根據について疑はるゝくら

ゐである。このロシアにおいて刊行物の著るしく多くなつた事は最近の現象であつて、ソヴェト政府は例の五ヶ年計畫をはじめその政策につき思想界に物質界に通じあらゆる宣傳につとめ、刊行物も國營として雨後のたけのこどころではない非常な勢ひで刊行頒布につとめてゐる。ところで新聞の數が日本支那などにおいて馬鹿馬鹿しく多すぎ、英、米、佛、獨等の比較的遙に少きを思へば我等はまさしく濫發時代に屬するものであつて、未だ淘汰成熟時代に入らざるものとも考へらるべく、恐らく支那の出版物も又新聞と同じく著るしく多いはずであると考へさせられる。

同時にこれら出版物中には片々たる小出版物や、一讀の價値もなき雑書の含まれてゐるも明かなれば、又その文字の特質が孤獨的なために、其まゝ他國人に讀まれがたく、又他國語に翻譯されにくい點から見て、一冊當りの平均讀者も少なければ、また冊子の流布される範圍が極めて限定されてゐることは明かである。従つて英語の本が英、米兩國及びその屬國さらに他國にまで流布さるゝに比して、自國民にのみ限定さるゝ日本字、支那字の書冊にありては、日本



で一萬部賣れたといふのは、英米の十萬部否百萬部に相當するかも知れぬ。従つて發行されし冊子の種別數は多くとも、その發行部數に至りては到底御話にならないほど少ないと思ふ。

十 新刊批評の廣告價値

東京朝日の土岐調査部長は寄贈新刊書につき次の如く記してある。

わが東京朝日新聞社調査部にあてて批評紹介のために寄贈される圖書の統計をとると

大正一三年	三、一二八冊
同 一四年	三、二六〇
昭和 一年	三、六〇八
同 二年	三、七〇六
同 三年	三、八三三

即ち一年平均三、五八三冊となる。乃ち此内務省納本の約二割が新聞社の書庫に送られるが、

納本のうちには圖書としての價値を疑はしめるものも多いから、この二割はまづ代表的な新刊といつてよからう。

この寄贈書に對して調査部では、できるだけ早く批評紹介につとめつゝあるが、その掲載の段數は一ヶ月およそ新聞紙面の十七段がいはゆる六號活字の部分に費され、その他に毎週一回づゝ讀書ページをつけて、嚴正な讀書指標を示してゐる。これが約二十四段をとつてゐるから、合計四十一段、一ケ年四百九十二段に達してゐる。行數にすると、七六、二六〇行に達して一冊に對して平均二十二行を費してゐることになる。假りにこれを廣告料に換算してみると、無慮一一四、三九〇圓に上るから、一冊に對して三三圓となる計算である。もしたゞ書名と著者と書形と頁數と定價と發行所と、これだけを紙面にのせるにしても十五字詰約三行を費すから批評紹介の文字を連ねてないものについても、その一冊につき廣告料に換算して四圓五十錢に當るわけである。



十一 新刊批評の独立性

こゝに広告料金を引つ張り出すことは誤解を招き易いが、新刊紹介なるものがいかに効力あるかといふことはかなりよく知られてゐる。同時にそれが新聞のスペースを占めることによりて、いかなる犠牲が拂はれてゐるかといふことを知るべき尺度の一端を示したに過ぎない。この機会にいはんとするところは土岐調査部長によりて更に次の如く記されてゐる。

たゞし、新刊圖書や雑誌の批評紹介を記述するに方つて、広告料金を換算した金額などを擧げるとは誤解をまねくおそれが有るかも知れない。何故となれば調査部の仕事の一つたる新刊紹介が、廣告と交渉のあるように思はれるかも知れないことで、これは然しわが東京朝日新聞にあつては絶対に相互獨立の立場を守つてゐるから、いかに大きな廣告を出版者がしようとその内容實質が調査學藝の當事者をうなづかせるものでなければ、批評紹介のことはいやしくもしないことにしてゐるからである。讀書ペーヂの資料に選定する圖書などは、

その批評紹介の紙面に掲載されるまで、一切その取扱を受けたことを著者も知らないし、出版者もとより知るはずがない。いかに親しい著者に依頼されても、またいかに廣告方面の「おとくい」である出版者に要望されても、お氣の毒ながら朝日では全く受付けない。この點はわが朝日の傳統的態度で、一部にはかたくなとさへいはれるが、この方針は今後も嚴格に遂行する。わが朝日の新刊に對する權威は、正にこの方針によつてこそますます一般に周知確認されてゐることを十分に知つてゐるからである。これは讀者のみならず、著者も出版者も常に諒としてゐられることをこの機会に強調しておきたい。

十二 僕の作品と批評

この抽象的な説明に對して僕は幾多の事例を摘示したいが、それは禮を失するため差控へる。只僕はかなり多くの書冊をおくられて是非僕の批評をのせてくれといふ、それには未知の人が少くない。時には批評文の原稿を封入して登載を求められる分もある。しかしそれを一々



注文通り聞いてゐては、僕一人の受けてる分だけで、到底紙面を許してくれぬ。僕も成るべくは希望に副ふべくつとめてゐる。また時々はそうした必要に迫られて、假令走り読みにしても書冊に眼を通し、自から新しき知識を得る事は、有りがたい事と思つてゐる。しかし限りある紙面に限りなき注文をうけ入れることは事實不可能である。こゝに一々他人の作品につきその事例を挙げ得ぬため、止むなく自分の作品につき引例する。僕は大正十一年以來既に二十部の新刊を公にしてゐる。その中にて『新聞に入りて』と『財政讀本』についてはまさしく朝日紙上の新刊紹介欄に紹介せられた。しかしその他に至りては遠慮してくれといふので差控へがちなつてゐる。朝日新聞社發行の朝日叢書の一たる人口問題講話、食糧問題講話などは、之が普通ならかなり大げさに提燈を持つて貰つて然るべきであるが、廣告以外には全く一言のあいさつも現はれない。況やその他の僕の作品に至りては廣告は御隨意だが新刊紹介にはといふので、マアこれが朝日式といふのであろう、あんまり嬉しくもないが事實差控へがちである。従つて何も僕の作品は批評さるゝ價値ありと威張るでもなく、また價値なしと卑下もしないが、此

一例を以て想像してほしいと、知人には口づから釋明したり諒解を求めることになつてゐる。

### 十三 讀めよ評せよ

僕も新聞人である以上、決して注文をハネつけて快としてゐる者ではない、成るべく希望に副ふべくつとめてゐる。さればこそ折々僕が筆にした新刊紹介も紙面に出てはゐる、しかしそれは注文をうけし者の全部ではない。御斷りをせねばならぬものもあり、また筆にしたいと思ひながら多忙にまぎれその機を失することもある。誠に申譯もないと思ふが、しかし僕の身になればまたそれ／＼の言譯もないではない。

自分の忙しいことを吹聴するのはいかがとも思つたが、原稿をおくられる人の中には紙上掲載を求めるが、それは紙面限りあるゆる差支へありとせば止むを得ない、是非僕に一讀してくれといふ注文もある。その一例としてこゝにある未知の人より來信の一節を紹介する。

肅啓 過日は御多用の處御高配を蒙り忝く奉深謝候。然る處果して駄目、唯小生としては



一應の御高讀を是非先生に御願申上たかつた次第にてこの點實に殘念に奉存候。斯くて原稿は誰の目にも觸ることなくして空しく再び歸來、一種皮肉の感切に御座候、何分にも多忙僅々毎日三時間位の餘暇を以て書綴りたるもの。市井の眞理は容易に世に出づる能はずとあつては、其罪果して孰れ

いかさま粒々辛苦の餘筆にしたものが世に出づる能はずとあつては遺憾とするのは同情に堪へざる次第である。然し僕はこの種の原稿をかなり多く手にする。一々眼を通す暇がない、それ／＼にその題目によりて學藝部とか經濟部とか外報部とか政治部とか社會部とか主管の部に廻す。時にはアサヒ・グラフ又は週間朝日の方に廻す。それでそれ／＼主管の部よりあいさつして貰ふ事にしてゐる。この手紙はその結果主管の部から原稿を返送したるため、更に僕へあて訴へられた書信の一節である。投稿者の身になれば尤も千萬なことゝ共鳴もせられるが、相手變れど主變らずの僕の方の立場にも少しは同情して貰ひたい。

十四 忙しがつてる僕

僕は毎日十餘種の新聞に眼を通さねばならぬ。それが大阪、東京の朝日の編輯に營業にまた計畫に直接間接に何等かの交渉を持つ。それからまた自分の頭への糧として、又新聞そのものに關する本職上の資料として平均二十片から三十片の切抜をする。

この外に幾十の地方版がある。朝鮮版と郷里の和歌山版は特に注意する。此外臺灣名古屋及び郷里の新聞あり、それへ新聞通信社の通信報が四、五種ある、これだけでも數が多いのと義務として見ねばならぬといふ心持からはかなりの重荷である。

その上に毎日の書信が先づならし二十と見て、それ／＼返事を書く、また社のかゝり／＼へ書き添へて轉送する。この始末が存外手數である、そこへ一身上の人事とかまた紙面の改良とか時事の述懐意見であるとか、かなり長々しいものも少くない。僕はかなりまめな方だが實際年の加減もあろう、このごろは眼を通すだけでも大分大儀になつて來た。



さらに雑誌となると多種多面で、近頃は短歌雑誌だけで二十種近くになつてゐる、短歌雑誌はたゞの一部でもかなり時を要する。また同じ雑誌でも興味本位のものグラフとか週刊朝日といふ種類のものは樂々と面白半分によめるが、政治、經濟、外交等に亘りてその種類は全くあげて數へがたい。此方は全く読み切れない。これはマークをつけてそれ／＼剝ぎとらせ分類して置く事にしてゐるが、特に早く読みたいと思へばそのまゝ切りとつてポケットへ入れ、ひま／＼に読む事にしてゐる。ところで此読みたいと思ふ雑誌、更に毎日のように机上におかれる新刊書、或は手にし或は旅行用のバッグに入れても中々読みこなす時間がない。さらに／＼此間講演がある、雑誌類への寄稿の催促がある、折々著作がある、既に昨秋から飛んでもない公民讀本といふものを引きうけて、讀本だけにととても荷が重い、上巻を公にし今やつと下巻を脱稿した。

十五 財食人書屋

話は半分脱線したが、これは恐らく自分一人だけの樂屋落ちでも何んでも無い、大體社同人人においても大差ない。しかも同人の多くは第一線に立ち、毎日或る時間は全然分秒を争ふ事務に釘付になつてゐる。之に比べたら僕の方は止むなく忙しいといふよりも、自分で忙しがつてる氣味もないではない。これが持つて生れた病とでもいふのであろう、それは貴族院や衆議院の議員諸君が國を憂へられると似た程度である。たゞ僕は彌次つたり、張り倒したり、怒鳴つたりするため費すカロリーを、筆と舌と眼に費すだけの相違である。

もうこの邊で元來た道に立ちかへる。僕は浅い代りにかなり廣々した間口を持つてゐるから、何んでも御座れで書籍のおくりものは何より嬉しく歓迎してゐる。一部は東西朝日の圖書室へ納めてゐるが、それでも海南莊は書籍の重みで根太がゆるみ出し、こゝに止むなく書庫を新築した。財政讀本人口問題食糧問題三部の頭文字をならべて財食人書屋と題してゐる。その新築の書屋ももう一杯になつてゐる。手にした書冊の多くの中よりブックレヴューしてよいと思ふものであれば、時の許される限りは之を筆にしてゐる。只何分にも十分に読み切れない、いはんや印刷に



付せられざるものは何分にも読みにくい。これは獨り批評といはず序を求める意味でもよく送られるが、一々その希望にそふ能はざるは遺憾とする所以である。

だら／＼と長々しい漫談になつて仕舞つたが、こんな記事でも新聞のスペースといふ點から投書寄稿贈書につき新聞常識の一端として何等かのヒントを得て貰つたら仕合せである。但しなほ一言付け加へておきたいことは、一口に新聞といつても千差萬別である。紙上を劇場にたとへたならば、大入満員つゞきで補助椅子にまでプレミアムがつくことあれば、不入となつて半札を出す、それでも場がさびれるとロハで近所近邊の老若を狩り出してくる。新聞の紙面とてもまさしく同じ事である。さし潮ひき汐の問題である。人氣の立つ立たぬの問題である。足許を見る見らるゝの問題である。需要供給の原則である。新聞紙面のスペースの價値は大體發刊部數によりて比例せられるから、その程度はそれぞれに自から異ならざるを得ない、此一文を以てすべてを律することはできぬ。(六・二・二二週刊朝日)

### 公德もみくちや物語

#### 一 日本人は鼻が無い

日本の家では毎日のように襖障子をバタ／＼とはたいては疊の上をガサ／＼と掃き立てる。細かい塵は同じ部屋の中へ逆戻りして納まるのだが、それを日に一度づゝ繰りかへして塵を舞ひ上らして見ないとどうも氣分が落ちつかないらしい。

この毎日のように拭掃除したり風呂には入るのを見て、西洋人は「日本人たいへん潔癖ある」といふ。しかし「日本人は鼻持たないある」といふ。

日本人の鼻が低いといふなら聞えてるが鼻が無いとはひどすぎる。然し彼等に云はしむれば、鼻のような格好したものはまさしく顔の眞ん中に鎮座はしてる、たゞその鼻に感覺がない



から鼻無きに同じだといふ。それは大小便がれいれいしく大つびらに保存せられて、日本家屋へ招待されると應接室にも食堂にも、臭気が發散されて鼻持ちがならないからである。しかもそれほど鼻感が鈍いにしては香水の賣れゆきが盛んである、そこで日本人の鼻が問題になる。うち蟲のうぢくしてゐるのまで明らかさまに手にとる如く脚下に展開されてゐるあの糞壺なるものを保存してゐる日本家に、西洋並に臺所のゴミ箱を普通の芥箱と別々にせぬと、醗酵して保健康の上よろしくないなどいふだけ野暮なり、肺病患者が往來や電車汽車の中でべつべつと黴菌入りの痰を吐き散らす心意氣から見ても、便所ゴミ箱ドブ溝などを、消毒どころか傳染病菌媒介の邪魔にならぬように、せいれい臭く腐くきたなく成行にまかせておく。これでこそ世界四季を通じてチブス病を流行させ、ために一年に二萬人も殺していさゝか人口の調節に資しつゝある苦心のほどがうかゞはれる。

## 二 公園とは掃溜なり

自分の家の中の拭掃除や庭の手入れなどを八釜しくいふ位だから、自分達の税金でつくり上げた自分達の町の道路橋梁公園などの手入れにも、同じように氣をくばるべきはづであるが、家の中を奇麗にする埋合せとでもいふのであろうか、家の外は如何にせば汚なく出来るだらうかと、市民心を一にして公德もみ苦茶に努力をつゞけてる。

往來でも車中でも痰唾の吐き放題、之には佛蘭西のジョツフル元帥もおつたまげたといふ。車中で辨當喰ひのこしの、捨て放なしのゴミと一處に掃き放し、之には獨逸のハーバー博士も眼を丸くしたといふ。至るところ塵芥の散らかし放題、草木花卉の手折り放題、西洋家屋も他人の家なら泥靴のまゝで上がり放題、そこで東京驛には七十餘名の掃除夫がノベツに掃除してゐる。日比谷公園では一日にゴミ車が二十臺から五十臺運ばれ、あの小さいほけな上野の動物園に十三人の掃除人が眼を廻はして、一年に一萬圓の費用をかけてゐる。市公園課では百名内外の掃除人により毎日二十四萬貫目のゴミの始末にかゝつてゐる。東京市としてはゴミの運搬に陸上では約九百人水上で約百五十人一年約百六十萬圓の犠牲を拂つてゐる。豈夫れ盛んならずやである。



三 倫敦に落書せる便所あり

歐米の公園はとても奇麗である、五彩をいろどる草花も誰一人手折るものなく咲き匂ふてゐる。東京の公園ではなによりも先づ眼ざわりなのは祭札の立札した中へ庶民亂入して、お辨を開きて喰ひちらかす、芝生の上で子供等は下駄ばきではね廻る、紙屑や蜜柑や卵の皮を砂利を布いた道へ投げ散らかして掃除人を泣かせる。動物園で愛護すべきはづの動物に、眠つてゐる動かないからつまらないといふので、石を投げつける位だから、西郷さんの銅像に紙つぶてを投げつけるに大汗ダク／＼になるに不思議がない。

共同便所となるととても汚ない、足の踏み入れどころもない、全く以て手も足もつけられない。その白壁や羽目板へ根氣好く落書をする。米國紐育旅行中どうも日本人のように便所に落書する者はないといふたら、一人の國粹狂は口惜しいとばかりに落書きの便所をさがし廻つた。英京倫敦のハムステッドとかのある便所で落書してあるのを見つけて、鬼の首でも取つ

たように紐育の友人へ倫敦に落書せる便所ありと電報を打つたといふエピソードさへある。

四 圓タク地獄に三日に二人

往來はどうであらう！ 東京でも大阪でもまさしく圓タク地獄である。といふて東京で自動車數二萬運轉手四萬五千人にすぎない、流しの圓タクに至りては六千餘臺である、それで一年の交通事故死傷二千人内二百人は死亡その八割は圓タクのなす業なりといふ、いかにも事故が馬鹿に多すぎる。それには圓タクの不注意といふ事もある、道路の狭いといふ事もある、殊に歩道の狭すぎる事も、又その狭い歩道に自轉車あり電柱あり出店あり、いやが上にも狭くなつてゐる點も見のがせないが、何よりも多いのは車道を歩行する連中である、横斷線の無視である、交通巡査の指示の反則である、知つて横着を極め込む都會人と、知らずして迂路つく田舎人と、そこへ飛燕の如く自動車のトップを切る自轉車が眼まぐるしく駈けぬける、斯の如くにして東京では三日に一人の死人十人の怪我人を出す。之れが歐米の如く自動車が多くなつた



らどうなるのだ！

五 車の中でおシッコ

電車はどうか？ お客は降るものを待ち切れずに乗ろうとする、乗ると前後の乗降口で押し合ひへし合つてる。年寄り子供に席をゆづるところか、荷物や風呂しき包みを座席にのせて納まつてゐる。婦人の中にはわざ／＼座席の上に座はり込んで、すまして一人半分のシートを占領してゐる横着者もある。ベチャ／＼しやべくる蜜柑の皮をペツ／＼と吐きちらす、子供はとかく窓の外をのぞきたがる、泥靴をぬがさないからお隣りの客は迷惑千萬である。念の入つたのは冬空に子供の御好みとあつて窓を明ける、御ふくろさまは寒くても我慢が出来よう、いや窓の風上にて平氣ですまされるかも知れぬが、眞向に風をうけるものはたまつたもので無い。更に念を入れたのは子供がシッコしたいといふと、車中で子供を大の字にしてシー／＼と小便發射の合圖をかける、向ふ三軒兩隣りは浮足になつて眼を丸くせざるを得ない。

紐育の地下鐵で子供がチョコレート銀紙を捨てたのを、母親が叱つて又それを拾つてポケットに入れさせた事が思ひ出されて、あまりに東西の差別の大なるに驚く。もしそれアメリカ並に

「地下鐵道内で痰唾を吐くときは三百ドル以内の罰金又は六ヶ月以内の懲役又情状によりて二者を併科すべし」

といふ規則を日本でも勵行したら、緊縮内閣收入減少の折柄定めし財政上よい収入になる事

六 散らかしと掃除の根くらべ

汽車の中では根氣よくボーイが掃く、そこへ又これでもか／＼とお客はゴミ屑を散らかす。それもあり手輕な事では汚なく仕甲斐が足りないといふので、水をまいたあとを見すまし、そのベタ／＼とへバリつきたがり掃除に骨の折れるに興を催し、同じ捨てる紙屑でも丹念に細か